

豫テ當地特別區地方法院ニ於テ審理中ナリシ當館暴行鮮人學生八名ハ本月廿五日秩序妨害罪ニ依リ内二名ハ懲役八個月ニ其ノ他ノ六名ハ同<sup>(ア)</sup>八個月ニ處セラレタリ詳細郵報ス

北平、上海、奉天、吉林へ轉電セリ

### 三 安東密輸問題

189

昭和5年1月6日

在安東宇佐美(珍彦)領事より  
幣原外務大臣宛

中國海關の安東滿鐵付屬地内密輸入防止用出張

所開設要求を拒否經緯につき関東長官宛報告

機密第二號

昭和五年一月六日

(1月9日接受)

在安東 領事 宇佐美 珍彦 [印]

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

昭和五年一月六日附機密關第一號

太田關東長官宛往信寫別紙茲ニ送附ス

件名

一 密輸入防止ノ爲メ稅關出張所増設ニ關スル件

(別紙)

機密關第一號

昭和五年一月六日

在安東 領事 宇佐美 珍彦  
關東長官 太田 政弘殿

密輸入防止ノ爲メ稅關出張所増設ニ關スル件

當地支那海關ニ於テ密輸入防止ノ爲江岸ニ稅關出張所ヲ一個所増設ノ意図ヲ有シ居ル次第八客年十二月十日附<sup>(届出)</sup>機密第一號

三八一號大臣宛拙信初段及同月十八日附<sup>(届出)</sup>機密第三九一號同

信末段中ニ申進置タル通リナル處元來本件ハ前任福本稅關長ニ於テ豫テヨリ六道溝鴨綠江岸所在採木公司貯木所建築物ノ一部力密輸入防止ノタメ設置スヘキ稅關出張所ノ位置

トシテ好適ナルヲ認メ同建築物ヲ借受度シトノ希望ヲ有シ居タルヲ現稅關長「ベツセル」トモ協議ノ上今回日本

政府ニ於テ密輸入取締ヲ援助スルコトニ確定シタルヲ機會ニ之ヲ實現セムトスルニ至リタルモノニシテ之力爲先般來

海關側ヨリ直接採木公司ニ對シ右家屋ノ借受方交渉シタル處公司ヨリ該建物ハ既ニ使用確定シ居ルモノニシテ他ニ貸

與シ能ハサル旨回答アリタル趣ヲ以テ十二月末稅關長ヨリ該家屋ノ全部若クハ一部又ハ該構内地所一部ノ借受方ニ就キ何分ノ盡力アリタキ旨本官ニ依頼シ來リタルヲ以テ本官ハ密輸入取締ニ關スル我政府ノ方針ニ鑑ミ又該場所ハ江岸ニ外ナラサルニ依リ本件ノ實現ハ主義上差支ナカルヘシト思考スルモ事鐵道附屬地域内ニ屬スルヲ以テ之ニ同意ヲ與フルニハ經伺ノ必要アル次第ナルカ免ニ角公司側ノ意向ヲ慥ムヘシト答へ置キ不取敢右ノ趣ヲ公司側ニ傳へ稅關側ノ希望通リ家屋ノ全部又ハ一部ヲ貸與スルカ若クハ家屋ノ貸與ニシテ不能ナラハ構内地所ノ一部ニテモ貸與スルコト能ハサルヤト内談ヲ試ミタルニ公司側ニテハ右建物ハ支那側貯木所長ノ住宅ニシテ客年春以來空家トナリ居ルモ早晚公司員ノ居住ニ充ツヘキモノナルカ若シ同所構内ニ支那稅關ノ出張所設置サレ稅金ノ取立ヲ開始スルカ如キニ至ラハ間近ニ居住スル多數密輸從事ノ鮮人等ハ何等稅關ト關係ナキ同公司ニ對シテ迄怨恨ヲ抱カサルナキヲ保セス旁公司營業上支障渺カラサルヲ以テ之レカ貸與ヲ好マサル實情ナル趣ナリ然ルニ過般京城等ニ赴キタル總稅務司派遣調查員「ベル」（客年十二月十八日附外務大臣宛拙信機密第三九一號）

参照。

190 昭和5年1月21日 太田関東長官より

關東府の密輸入取締問題調査員稅務司ベルによる安東満鉄付屬地内中國海關出張所開設要請に対する應酬振りについて

(1月27日接受)

關機外第三號ノ二  
昭和五年一月廿一日

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

安東附屬地江岸ニ支那稅關出張所増設ニ關スル件

本件ニ關スル當廳ノ意嚮ハ往電第二號ノ通ニ候處本月九日

總稅務司署ヨリ派遣セラレタル密輸入取締問題調査員稅務司「ベル」氏ハ北代大連稅關長ヲ帶同當廳ヲ訪問シ

今回安東六道溝鴨綠江岸ニ稅關出張所ヲ增設シタク該出張所ノ位置トシテハ安東鴨綠江探木公司貯木場建築物ノ一部ヲ最モ適當ト認メ同探木公司ニ對シ其ノ借入方ヲ交渉シタルモ拒否セラレタルニ就テハ該建築物借入ニ關シ盡力相成

參照) 再ヒ來安シ本月四日稅關長「ベツセル」同伴本官ヲ來訪シ本件成行ニ付質問シタルヲ以テ公司ニ於テハ都合付カス殘念ナカラ稅關ノ希望ニ應シ難キ趣ナリト述ヘタル處「ベル」ハ該個所ニ出張所ヲ設クルコトハ極メテ必要ナルニ付日本政府力密輸入取締ノ援助方ヲ承引シタル好意ノ表徵トシテ是非共之レカ實現ニ盡力アリタシト强硬ニ主張シ本官ハ之ニ對シ本官トシテ公司ヲ強要スルノ權能ナク從テ公司ニ於テ都合付カサル以上稅關側ニ於テ他ニ適當ノ場所ヲ求ムル外ナカルヘシト答へ置キタルカ結局一二三日中ニ「ベル」自ヲ關東廳ニ赴キ同様ノ趣旨ヲ申入ルヘシト辭去シタリ就テハ右ノ事情御含ミ置キノ上同人出頭ノ節ハ可然應酬相成度此段申進ス

本信寫送附先

外務大臣、在支公使、奉天總領事、上海總領事、南京領事。

度旨（一月六日附安東領事發本官宛機密第一號參照）申出アリタルヲ以テ當廳トシテハ同公司ニ對シ之ヲ強要スルコト法制上不可能ナルニ付更ニ直接當事者ト交渉スルヨリ外途ナキ旨ヲ說示シタルニ然ラハ新ニ安東附屬地河岸ニ「ハルク」ヲ設ケ右出張所ヲ建造シタキ旨申出タルモ同水面ハ鐵道附屬地ト同様ニ取扱フヘキモノト思料セラルニ付本件ハ國際問題ニモ有之現地ノ官憲タル安東領事ト交渉セラレタキ旨回答シ置キタリ次テ同氏ハ安東ニ於ケル稅關監視員ハ絶エス密輸團ノ爲脅サレ職務ヲ完全ニ執行スル能ハサルニ付此際日本警察官ヲ增員シ之力警戒保護ニ任セラレ度且稅關側ニ於テ其ノ所要經費ヲ支出スヘキヲ以テ出來得ヘクンハ請願巡查十數名派遣セラレ度シト申出テタルニ依リ警察官ノ增員ハ豫算ノ關係上不可能ニシテ現在員數ニテハ一般治安維持ニ付テモ尙其ノ不足ヲ感シ居レルモ特ニ出來得ル限り相當員數ノ警察官ヲ差操シテ密輸取締ノ援助ニ當ラシメ居ル事情ナルヲ以テ之以上增派スルコト困難ナリ又請願巡查派遣ノ件ハ法規上實現困難ナルノミナラス上記ノ如ク現ニ當方ニ於テ出來得ル限り取締ノ援助ニ當リ且右ノ結果トシテ最近殆ント密輸入ノ跡ヲ絶チツツアルノ現狀ナ

ルヲ以テ此際右派遣ノ必要ナカルヘキニ付不惡諒承アリ度旨應酬シ置キタリ右ノ如ク「ベル」氏來訪ノ要件ハ全部當方ノ快諾ヲ得ルニ至ラサリシヲ以テ同氏ハ不滿ノ様子ニテ十日一應大連出帆ノ便船ニテ歸滬スヘキ旨ヲ漏シ退廳セリ本件ニ關シテハ後日更ニ支那側ヨリ何分ノ儀申出ヘシ哉ト存セラルルニ付爲念申進ス

尙本件ニ關聯シ從來滿洲米ノ對岸朝鮮ヘノ輸出ニ付テハ支那ノ防穀令ノ實施ヲ援助スルノ目的ヲ以テ曩ニ大正十五年關東廳令第三十五號（安東領事館令第二號）ヲ以テ密輸出取締規則ヲ設ケタルモ支那官憲ハ締約ヲ無視シ誠意ヲ以テ護照ノ發給ヲ爲ササル爲取引上ノ支障渺カラス邦商ノ蒙ル損害甚大ナルニ依リ奉天總領事ニ於テ支那側ニ交渉シ護照發給方ヲ要望シタルコト一再ニ止マラサリシモ支那側ハ之ヲ容レサルヲ以テ安東ニ於ケル上記取締規則ハ事實上之ヲ勵行スルニ至ラス且昭和三年勅令外米輸入制限令ノ施行ニ當リテモ朝鮮總督府ハ國境間ニ於ケル滿洲米需給ノ實情ニ鑑ミ機宜ノ措置トシテ一回ノ輸入額二千五百斤（十石）ヲ超エサル數量ハ同府ノ許可ヲ要セス單ニ新義州稅關ヘノ口頭申告ヲ以テ輸入シ得ル旨ノ緩和規定ヲ設ケ現時ニ至リタ

ル次第ノ處上記安東支那稅關出張所増設ノ曉ニ於テハ自然右滿洲米ノ輸入ヲモ取締ルコトトナルヘキヲ以テ右様ノ場合ニ於テハ支那側ニ於テ誠意ヲ以テ迅速ニ護照ヲ發給スルニアラサレハ當方ニ及ホス影響渺カラス候ニ付此點ニ關シテモ重テ嚴重交渉方御配慮相煩度

右報告旁申進候也

本信寫送付先 在支公使 安東領事 上海 奉天各總領事

南京領事

編注 「輸入」の箇所に「朝鮮輸出？」との書き込みあり。

191 昭和5年1月27日 币原外務大臣より  
在支公使 安東領事宛

旨回訓

亞二機密第四號

昭和五年一月二十七日

安東滿鉄付屬地内中國海關出張所開設承認の  
外務大臣男爵 币原 喜重郎

在安東

領事 宇佐美 珍彦殿  
安東附屬地江岸ニ支那稅關出張所増設ニ關スル件  
本件ニ關シ本月六日附機密第二號、第三號並第六號貴信ヲ

以テ御申越ノ趣了承本大臣宛關東長官電報外第二號ノ次第モアルニ付貴見ノ通り取計ハル、コトニ異存ナシ尤モ稅関側ニ於テ飽ク追鴨綠江採木公司貯木所長住宅ノ借入ヲ要請シ來ル場合同公司側ニ於テ附近ニ居住スル鮮人ノ怨恨ニ氣兼シ其ノ貸與ヲ躊躇スルモ理由アル次第ニシテ同公司力結局承諾スルトシテモ我警察力ヲ以テ保護スルノ必要起ルヘキヤニ思考セラル、ヲ以テ萬事ハ不日帰任スヘキ高尾理事官トモ更ニ協議セラレ又警察官駐派ノ必要アル場合ニハ再應關東廳側ト打合ヲ遂ケラレタシ

~~~~~

192 昭和5年4月(5)日 在南京上村領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

國民政府財政部の新義州中國海關分局設置方

要請につき重光代理公使宛報告

本省 4月5日前着 南京 発

~~~~~

193 昭和5年4月(24)日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

國民政府財政部による新義州中國海關分局設置要請の條約の根拠につき外交部當局に問合

せ方南京領事に要請

上 海 発  
本 省 4月24日前着

194 昭和5年4月26日 在南京上村領事より  
幣原外務大臣宛(電報)

公第四一五號  
本官發南京宛電報

## 第二五九號

四月四日附機密公領第一五八號貴信ニ關シ

外交部公文引用ノ一九一三年鴨綠江條約ナルモノ無之右ハ

同年締結ノ鮮滿陸境關稅輕減ニ關スル取極(日支條約集四

一九頁)第六條ヲ言フモノト思ハルル處右第六條ハ單ニ密

輸出入防止ノ爲兩國稅關力協助スヘシトノ原則ヲ定ムルノ

ミニシテ新義州ニ稅關設置ヲ認ムルカ如キ規定ハ當方記録

中ニ見當ラサルニ付貴官ノ思付トシテ右規定ノ根據ニ關ス

ル外交部當局者ノ意見御聽取ノ上結果御回示アリタシ

大臣へ轉電セリ

編注『日本外交文書 大正二年 第二冊』一〇四三頁參

照。

南 京 發  
本 省 4月26日前着

## 第三七一號

本官發上海宛電報

## 第三七三號

貴電第二五九號ニ關シ(新義州ニ支那稅關設置ノ件)

國際司長ニ就キ夫レトナク尋ネタル處本件取極ハ一九一三

年五月九日附ヲ以テ伊集院公使ト總稅務司トノ間ニ交換セ

ラレタル公文ニ規定セラレ居ル趣ナリ(MacMurrey -

treaties and agreements and concerning China 第二款

一〇四一頁參照)

大臣へ轉電セリ

195 昭和5年5月18日 在安東宇佐美領事より  
幣原外務大臣宛(電報)  
中國稅關の取締りによる朝鮮人密輸業者死傷  
事件発生を契機とした朝鮮人の中國海關出張  
所襲撃事件について

安 東 5月18日前發  
本 省 5月18日前着

安 東 6月5日後發  
本 省 6月5日後着

## 第二九號

往電第二八號ニ關シ

第一九號  
本十七日午前〇時頃鮮人船夫六名ハ地下足袋及綿製品ヲ解  
舟三隻ニ積込ミ安東側下六道溝探木公司漂流木整理局手下  
(附屬地内)陸上ニ集團セル四(五)十名ノ鮮人ト協力シ  
密輸入セントシタル處水陸兩方面ヨリ支那稅關吏ニ襲ハレ  
争鬭ノ末鮮人船夫一名ハ打撲傷ヲ蒙リ水中ニ墜落死亡セリ  
之力爲激セル鮮人ハ本夕稅關出張所建物ニ對シ暴行ヲナシ  
タルカ警察ノ取締ニ依リ目下ノ所鎮靜ニ歸セリ委細郵報  
上海ヨリ南京ニ轉電アリタシ  
上海、支、奉天ニ轉電セリ

五日當地稅關長「ベツセル」本官ヲ來訪シ密輸事件ノ頻發  
ハ朝鮮總督府側ニ於テ鴨綠江全部ヲ日本領水ト主張シ關東  
廳側ニ於テモ附屬地沿岸水面ヲ其ノ行政範圍ト唱ヘ之ニ對  
シ支那側ハ國際通義ニ基キ飽迄河心ヲ以テ境界ナリト認ム  
ル論爭ニ關聯シ兔角支那稅關側ノ水面ニ於ケル取締徹底シ  
得サル事情アルト同時ニ他面日本側ニ於テ密輸入業者ニ對  
スル取締規則ヲ缺クニ基因スルヲ以テ右ノ二點充分御考慮  
願ヒタシト述ヘタルニ付本官ハ領水問題ハ我方ノ方針從來  
一定シ居リ今更論議ノ限りニ非サルモ密輸ノ取締ハ領水問  
題ト切離シテ日支兩當局ノ協力ニ依リ相當成果ヲ擧ケ得ル  
モノト確信シ着任以來日尙淺キモ充分努力シ居ル次第モ

三 安東密輸問題

アリ御申出ノ密輸業者ニ對スル罰則發布方ニ関シテハ近ク奉天ニ開カルヘキ領事會議ノ際奉天總領事及關東廳當局トモ篤ト協議ノ上成ルへク其ノ實現ヲ期スル様努力シタキ本官一己ノ考ナル旨應答シ置キタリ

尙當館高山署長ノ意見ニ依ルモ本件ハ關東廳ニ於テ速ニ取締規則ヲ發布シ一面新義州警察當局ノ熱心ナル協助ニ待タサレハ防止方效果少シトノコトナリ

上海、南京、北平、奉天、關東廳長官へ轉電セリ

上海、南京、支、奉天、關東廳長官へ轉電セリ

197 昭和5年6月6日 在安東森岡領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

安東海關長の密輸取締り規則制定方要請に對す我が方対処法につき意見具申

安 東 6月6日前發  
本 省 6月6日後着

第三一號  
往電第二九號ニ關シ

當地稅關長ハ六日付公文ヲ以テ朝鮮側ヨリノ密輸入ヲ取締ル爲日本側關係官廳ニ於テ取締規則ヲ發布シ鹽ノ密輸入ト

198 昭和5年6月6日 在安東森岡領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

朝鮮人密輸業者死傷事件に對し中國稅關より弔慰金支払いについて

安 東 6月6日後發  
本 省 6月7日前着

第三二號  
往電第二〇號ニ關シ

密輸自體ハ不都合ナルモ支那稅關吏力鮮人ヲ毆打投水死亡セシメタルハ實際ハ毆ラレテ水ニ落込ミ窒息死亡セルモノ

在安東  
領事 森岡 正平〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

押收禁制品引渡拒絶問題經緯ニ關スル件

一、密輸入禁制品ノ種類及員數

(イ)ローヤル拳銃

六十九挺

(ロ)ローヤル拳銃甲捕彈子 百三十八個

(ハ)ローヤル拳銃彈丸

七千發

一、荷送人

大阪市西區京堀北通一丁目

中上清吉

一、荷受人

奉天江ノ島町

岡崎商店

一、輸送取扱者

大阪市湊町運送株式會社

右密輸入禁制品本月三日午前九時安東驛構内ニ於テ發見セラレタル處支那稅關側ニ於テハ支那稅關吏ガ先ニ發見

同様法規違反トシテ取締ヲ願ヒタキ旨照會シ來リタルカ右ハ口頭ナラハ格別苟クモ公文ヲ以テスルカ如キハ帝國官廳ノ權限ニ對シ甚々出過キタル差出口ニ付本官ハ之ニ對シ何等書面ノ回答ヲ發セサル考ナリ感情上茲ニ至リタルハ我方ニ於テモ其ノ責ニ任セサルヲ得サルヲ以テ實際上ノ取締ハ益々之ヲ嚴ニシ支那稅關ヲシテ乘スル餘地ナカラシムルコトト至シタシ

199 昭和5年6月10日 在安東森岡領事より  
幣原外務大臣宛

密輸禁制品押收問題の經緯について

付 記 六月二十四日調

「安東ニ於ケル沒収品処分問題」

機密第二二六號 昭和五年六月十日

（6月13日接受）

取上ゲタルモノナレハ用濟次第右返還アリタキ旨別紙<sup>(金基)</sup>甲  
 號寫ノ通照會シ來リ一面我警察側ニ於テハ右ハ國際運輸  
 株式會社店員松根某ニヨリ先ニ發見セラレタルモノナル  
 ヲ以テ押收品ハ日本側ニ沒收スヘク税関側ニ引渡ス能ハ  
 スト主張シ居ル事件アリ本件ニ関シテハ一昨年十二月並  
 ニ昨年二月中ニ於テモ署同様ノ事件發生シ當時夫々支那  
 稅關ヨリ前例ニヨリ押收品引渡方強硬ニ要求シ來リタル  
 カ警察側ハ我方ノ司法權警察權ヲ制限スルカ如キ從来ノ  
 取扱振ハ甚不当ナリトシテ引渡ヲ拒ミタルモ此種ノ取扱  
 方ニ関シテハ大正十年四月中入江領事稅務司「ギルクリ  
 ツシ」間ニ『密輸禁制品ノ發見セラレタル場合ハ輸入タ  
 ルト輸出タルト又日支何レカ先ニ發見シタルトヲ問ハス  
 押收品ハ凡テ支那側ヘ引渡ス』意味合ノ文書ノ取極メモ  
 アルニヨリ當時ノ岡田領事ハ右措置方ニ関シ昭和四年三  
 月十六日附機密第八六號往信ヲ以テ本省ニ請訓シ之ニ對  
 シ貴方ヨリハ同年四月九日附條二機密第二一號貴信ヲ以  
 テ御回訓ノ次第アリタル處政府ノ御方針ト右取極トノ間  
 ニ多大ノ懸隔アル為メカ同領事ハ税關長ノ公文要求ニ對  
 シ何等回答ヲ與ヘス又押收品モ引渡サヌシテ事件ヲ握リ

月十六日附機密第八六號往信ヲ以テ本省ニ請訓シ之ニ對  
 シ貴方ヨリハ同年四月九日附條二機密第二一號貴信ヲ以  
 テ御回訓ノ次第アリタル處政府ノ御方針ト右取極トノ間  
 ニ多大ノ懸隔アル為メカ同領事ハ税關長ノ公文要求ニ對  
 シ何等回答ヲ與ヘス又押收品モ引渡サヌシテ事件ヲ握リ

府ハ「ベツセル」ノ報告ニ基キ入江「ギルクリツシ」取  
 極ヲ楯トシ之ト合致セサル我方現在ノ取扱振ニ對シ或ハ  
 今後我在支公使宛抗議シ來ルカ如キコト無キヲ保シ難ク  
 旁從來ノ經緯委細報告ス

本信寫送付先

上海、南京、北平、奉天

(付記)

安東ニ於ケル沒收品處分問題（昭和五年六月廿四日調）

第一、入江「ギルクリツシ」協定

大正十年四月一日在安東入江領事ハ同地支那海關長「ギル  
 クリツシユ」ニ對シ禁制品取締ニ關シ左記内容ノ覺書ヲ提  
 出セリ

一、安東驛着列車内ニ於ケル阿片其他禁制品ヲ日本警官ニ  
 於テ先ツ發見シタルトキハ稅關吏員ノ立會ヲ求メ一應  
 身柄ト共ニ警察署ニ拘致シ取調ノ後違禁品ヲ稅關ニ引  
 渡スヘシ若シ稅關吏員ニ於テ先ニ發見シタルトキハ該  
 吏員ハ日本警察官ノ立會ヲ求メ犯人ノ身柄ヲ警察官ニ  
 引渡シタル後違禁品沒收ノ手續ヲ爲ス可シ

潰シタル儘轉任トナリタルカ其ノ後同年六月ニ至リ芝崎  
 代理領事ヨリ福本稅關長ニ對シ態ト曖昧ナル回答ヲ發シ  
 他方同稅關長ハ當時隨分我警察署長ト論爭シタル趣ナル  
 モ日本人間ノ事、テ結局其儘事濟ミトナリ居リタリ然ル  
 ニ今回ハ外人ノ稅關長トナリタル關係上公文ノ照會以外  
 更ニ口頭ヲ以テ近來日本領事ガ以前ノ實例ニ反シテ故ラ  
 ニ本件ニ關スル取極メヲ無視シ且稅關長ノ照會ニ對シテ  
 モ何等確答ヲ與ヘサル事實ヲ追窮シ兔ニ角公文ヲ以テ何  
 分ノ回答ヲ發スル様執拗ニ促シ來リ結局本官トシテモ此  
 ノ上不得要領ノ態度ヲ取り押收品引渡拒絶ノ理由ヲ説明  
 セサル時ハ徒ニ稅關長ノ感情ヲ害シ日常ノ交渉甚タ不利  
 益ニ陥ルノ外ナキヲ認メタルヲ以テ昨年四月御回訓ノ趣  
 旨並ニ我方警察側ノ主張ヲ綜合シ本日附ヲ以テ不取敢  
 別紙<sup>(金基)</sup>乙號寫ノ通り公文ノ回答ヲ發シ引渡ヲ拒絶シ置キタ  
 リ尚稅關内部ヨリ仄聞スルニ國民政府ハ前任福本稅關長  
 ガ日本人ナル為メ日本官憲ニ押サレテ兔角支那側正當ノ  
 権利ヲ主張シ得ズトノ理由ヲ以昨年來總稅務司ニ內訓ヲ  
 與ヘ「ベツセル」ト更迭セシメタル内情アルガ如シトノ  
 コトニモアリ自然本件ニ關シテモ此種ノ事情ヨリ國民政  
 府ハ「ベツセル」ノ報告ニ基キ入江「ギルクリツシ」取  
 極ヲ楯トシ之ト合致セサル我方現在ノ取扱振ニ對シ或ハ  
 今後我在支公使宛抗議シ來ルカ如キコト無キヲ保シ難ク  
 旁從來ノ經緯委細報告ス

二、日本警察署ニ於テ右犯人ノ取調上必要ト認ムルトキハ  
 何時ニテモ稅關ニ對シ違禁品ノ貸與ヲ要求スル事ヲ得  
 稅關長ハ之ニ承諾ヲ與フヘキモノトス

三、犯人取調上當館又ハ鮮地關係官憲ニ於テ其所持セル阿  
 片其他禁制品ヲ必要トスル場合ニ於テ之力輸出入ヲナ  
 ストキハ領事ノ證明ニヨリ稅關長ハ之ヲ許可スヘシ  
 右覺書ニ對シ「ギルクリツシユ」海關長ハ別紙寫甲ノ通り  
 總稅務司ノ許可ヲ得テ同年四月二十六日附公文ヲ以テ左ノ  
 趣旨ノ回答ヲ爲セリ

一、安東驛ニ於テ阿片其他禁制品ノ密輸入力先ツ日本警察  
 官ニ依リ發見セラレタル場合ハ右警察官ハ同所駐在ノ  
 支那海關吏ノ注意ヲ喚起ス右ノ場合

(1) 犯人カ日本國臣民ナルトキハ右犯人ハ禁制品ト共  
 ニ之ヲ日本警察署ニ連行シ禁制品ハ裁判確定迄日本  
 裁判所ニ留置シ確定判決後支那海關ニ送付セラルヘン  
 (2) 犯人力支那人ナルトキハ犯人ハ支那警察ニ引渡シ  
 禁制品ハ支那海關ニ送付スヘン

二、安東驛ニ於テ密輸入品カ先ツ支那海關吏ニ依リ發見セ  
 ラレタル場合

(イ) 犯人カ日本國臣民ナルトキハ請求ニ依リ日本警察

官右犯人ヲ逮捕シ禁制品ハ請取書ト引換ニ日本警察  
ニ引渡サレ裁判確定後支那海關ニ返還スヘシ

(ロ) 犯人力支那人ナルトキハ日本警察ハ請求ニ依リ右

犯人ヲ支那警察ニ引渡スヘク禁制品ハ支那海關ニ押  
收ス

三、安東驛ニ於テ日本警察又ハ支那海關ニ依リ押收セラレ

タル朝鮮ヨリノ密輸入禁制品カ朝鮮ニ於ケル裁判所ニ

證據物件トシテ提示ヲ要求セラレタル場合ハ支那海關

ハ日本領事ヨリ事案終了ノ後ハ返還スヘキヲ保證スル

請求書ニ基キ一時的再輸出ノ爲特別再輸出許可書ヲ發

行スヘシ

四、禁制品カ朝鮮ニ於テ押收セラレ犯人タル日本國臣民カ

在安東帝國領事裁判所ノ管轄ニ服スル場合ハ支那海關

ハ帝國領事ノ請求書ニ基キ禁制品ノ一時的輸入ノ爲特

別輸入許可書ヲ發行ス

右「ギルクリッシュ」回答ニ對シ入江領事ハ同年四月廿八

日附公文ヲ以テ「右ハ御申出ノ通り協定スルコトニ異存無

之」旨回答セリ

第二、右協定ノ效力ニ關シ岡田領事ノ請訓及回訓

本件ニ關シ岡田安東領事ハ客年三月十六日附公信ヲ以テ入江領事ハ右協定ニ基キ裁判所又ハ警察ニ於テ沒收處分ヲ爲

シタル後之ヲ稅關側ニ引渡ス考ナリシカトモ存セラルルモ

阿片、「モルヒネ」ノ如キハ沒收處分ノ後之ヲ燒棄シタルコトトシテ稅關ニ引渡スコトヲ爲シ得ヘキモ銃器ノ如キ場合裁判所ニ於テ沒收シタルトキハ檢事之ヲ處分スヘク其處

分ニ當リ無價値物件ハ之ヲ廢棄シ得ヘキモ有價物ハ歲入ノ目的ヲ以テ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘク物品會計官吏ハ

歲入科目ノ定ムル所ニ從ヒ直チニ國庫ニ拂込マサルヘカラス從ツテ稅關ニ引渡スコト因難ニテ面白カラサル協定ナル

モ多年本協定通り實行シ來リタルコトナルヲ以テ今直チニ右協定廢棄方交渉スルモ如何カト存セラレ領事館ノ職務ニ

關スル制第三條後段ノ規定モアルコトニ付本省ノ承認ヲ得レハ檢事ヨリ引繼ヲ受ケタル物品會計官吏ニ於テ之ヲ稅關

長ニ引渡スコト可能ト存セラルルモ如何取計フヘキヤ尙本協定ヲ將來存續セシメ差支ナキ場合ニハ奥地ヨリ安東驛ニ

來ル禁制品ニ付テモ本協定ヲ準用シ差支ナキヤ右回訓アリ

度旨請訓アリタリ右請訓ニ對シ本省ハ客年四月九日附公信

協定ヲ將來存續セシメ差支ナキ場合ニハ奥地ヨリ安東驛ニ來ル禁制品ニ付テモ本協定ヲ準用シ差支ナキヤ右回訓アリ度旨請訓アリタリ右請訓ニ對シ本省ハ客年四月九日附公信

ヲ以テ「從來輸入禁制品ノ沒收ニ付テハ稅關ニ於テ發見セラレタル場合ニ於テハ稅關之ヲ沒收スル權限ヲ有スルモノト解シ稅關ニ於テ既ニ沒收シタルモノニ付テハ日本裁判所又ハ警察官憲ハ之ヲ沒收シ得ス從ツテ引渡ヲ受ケタル場合モ借受ケタルモノトシ返還スヘキモノトナシ來レル處(明治四十四年十月二十四日附在間島總領事ヨリ外務大臣宛)

「モルヒネ」及「コカイン」密輸入ノ場合ノ目的物沒收ニ關スル同及同件ニ付同訓參照領事館令集第五六六頁以下)

本件入江領事ト安東稅務司トノ取極モ右ノ趣旨ニ反セサル

限度ニ於テハ實際上不都合ナキモノト解セラルルニ付右御

含ノ上稅關ノ要求ニ應セラレ差支ナン但シ右取極ハ專ラ朝鮮ヨリノ輸入貨物ニ關スルモノニシテ之カ適用ハ輸入ノ際

ノ沒收ニノミ之ヲ限局スヘク之ヲ支那内地ヨリ來ル禁制品ニハ準用セサル様致シ度」旨回訓シタリ

右回訓執行ノ結果ハ入江「ギルクリッシュ」協定ハ犯人帝國臣民ニシテ犯行カ先ツ日本警察ニ依リ發見セラレタル場

合ハ適用セラレサルコトトナリ其限度ニ於テ同協定ハ修正セラルルコトトナリタリ

然ルニ岡田領事ハ稅關長ニ對シ何等回答ヲ與ヘス又當時問

ヲ返還セサリシ事情有之依テ從來ノ警察側取扱振並本國政府ノ方針等ニ關スル舊記錄參照ノ結果朝鮮ヨリノ輸入禁制品ノミニ限リ貴稅關吏ニ於テ先ニ發見シタル場合ニハ貴稅關之ヲ沒收スルコトヲ得ルモ今回ノ如ク我方ニ於テ先ニ發見シタル或ハ貴我同時ニ發見シタル場合ニハ我方ニ於テ之ヲ沒收スヘキモノナルコトヲ確メタルニ付御要求ニ應シ兼ヌル旨回答セリ

右森岡領事回答ニ對シ別紙寫丙ノ通り本月十一日稅關長ヨリ昨年類似事件發生ノ際禁制品ノ引渡方ニ就キ福本稅務司

ヨリ岡田領事宛客年二月六日附公文ニ對スル日本領事ノ回答ヲ發見セス惟ニ當時口頭ニテ引渡ヲ拒絶セラレタルモノト察セサルヲ得サル處該事件ニ對スル日本側拒絶ノ根據ヲ通報アリ度又今回ノ禁制品ハ支那人海關吏之ヲ發見開箱シ其旨日本警察官ニ通報シタル次第ニテ右ハ朝鮮稅關吏モ其場ニ立合ヒタル旨更ラニ照會越シタル右照會ニ對シ森岡領事ハ六月十一日赤谷副稅務司ニ對シ口頭ヲ以テ入江「ギルクリッシュ」協定ハ司法權警察權ニ關聯シ我方ノ法規並ニ一般方針ニ抵觸セサル範圍ニ於テノミ我方裁量ノ下ニ之ヲ適用スヘク岡田領事ノ意見モ全然之ト同様ナリシヲ信シ

テ疑ハサルト共ニ今回ノ禁制品發見ノ先後ニ關シテハ稅關及警察側ノ主張一致セサルニ付此點ハ我警察署長ニ問合セアリタント告ケタル處赤谷ヨリ日本側ハ要スルニ入江「ギルクリッシュ」協定ヲ否認スル考ナリヤト反問シタルニ對シ森岡領事ハ單ニ前述ノ趣旨ヲ繰返シタリ

尙赤谷ハ本件ハ結局稅關長ヨリ總稅務司ニ報告スル筈ナル旨森岡ニ語リタリ

#### 第四、本件對策

##### (一) 入江「ギルクリッシュ」協定ト我法令トノ關係

刑法第十九條第二項ハ「沒收ハ其物犯人以外ノ者ニ屬セサルトキニ限ル」ト規定シ居レリ、從ツテ假ニ入江「ギルクリッシュ」協定有效ナリトセハ密輸入禁製品ハ假令先ニ我警察官ニ依リ發見セラレタルモノト雖先ニ支那稅關吏ニ依リ發見セラレタルモノト同様右犯罪ノ目的物ハ正當ニ支那官憲ニ歸屬シタル物件ニシテ我方審判ノ必要上一時借り受ケタルモノナルヲ以テ裁判結了後當然返還スヘク我方ニ於テ沒收シ得ス故ニ本件ノ要點ハ入江「ギルクリッシュ」協定力適法ナリヤ否ヤニ存ス本協定ハ成立當時本省ノ認可ハ勿論報告モセラレサリシト雖ヘ共先方ハ總稅務司ニ請訓ノ

上締立シタルモノニシテ已ニ十年近クモ實施セラレ居リ從ツテ我方ヨリ右協定ノ廢棄若ハ改締ノ手續モ取ラスシテ一方的ニ協定違反的處分ヲ爲スハ當ヲ得タリト云フヲ得ス清國輸入稅率改訂ニ關スル協定第三條ハ「兵器彈藥及各種軍需品ノ輸入業ハ清國政府ノ徵求ニ依ル場合又ハ其購買ニ對スル適法免許ヲ得タル清國人ニ賣渡ス目的ニ出テタル場合ヲ除クノ外之ヲ禁止トシ稅關ハ輸入者カ必要ナル許可ヲ得タルノ證據ヲ有スルマテハ右物品ノ陸揚許可證ヲ發給セサルモノトス本條ノ違犯ハ關係貨物ノ全部ノ沒收ヲ以テ之ヲ罰ス」

又明治四十二年一月一日「モルヒネ」ニ關スル規則第四條ハ

「稅關ノ特許ナクシテ陸揚セル「モルヒネ」若ハ其ノ使用

上ニ要スル器械ハ一切之ヲ沒收ス」ト規定シ銃器「モルヒネ」等力輸入禁制品タルコト及之等ヲ清國稅關ニ於テ沒收スルコトニ就テハ帝國政府ニ於テモ已ニ承認セル處ニシテ

之等密輸入品先ニ支那國稅關ニ依リ發見セラレタル時ハ稅關ニ依リ沒收セラルコトニ付テハ問題無ク只本協定ノ如ク先ニ我方警察官ニ依リ發見セラレタルモノニ付テモ稅關

編注 「等」の箇所に「薄」との訂正書き込みあり。

(一) 本件ノ如ク國際運輸會社ノ店員カ發見シタルヲ以テ入江「ギルクリッシュ」協定ニ所謂先ニ日本警察ニ依リ發見セラレタル場合ナリト稱シ得ヘキヤ甚タ疑ハシ單ニ密告ヲ得タルノミニテ我方發見ヲ主張スル論據等弱ナリ故ニ此際本件拳銃ハ先方ニ引渡スコトトシ協定ヲ適當ニ變更スル爲先方ノ同意ヲ得ル様措置スル方可ナルヘシ

200 昭和5年6月11日 在安東森岡領事より

我が方押収密輸禁制品引渡し拒絶回答に対する

る安東税関長の反論について

(6月16日接受)

機密第二二七號  
昭和五年六月十一日

在安東

領事 森岡 正平〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

押收禁制品引渡拒絶問題經緯ニ關シ續報ノ件

本月十日附機密第二二六號拙信附屬乙號寫本官發稅關長宛  
公文ニ對シ本十一日附ヲ以テ稅關長ヨリ別紙(省略)寫ノ通昨年類似ノ事件發生ノ際禁制品ノ引渡方ニ就キ福本稅務司ヨリ岡田領事宛客年二月六日附第一五四號公文ヲ以テ照會シタルニ右ニ對スル日本領事ノ回答ヲ發見セス思フニ當時口頭ニ引渡ヲ拒絶セラレタルモノト察セサルヲ得サル處該事件ニ對スル日本側拒絶ノ根據ヲ通報アリタク又今回ノ禁制品ハ支那人海關吏之ヲ發見開箱シ其旨日本警察官ニ通報シタル次第ニテ右ハ朝鮮稅關吏モ其場ニ立會ヒタル旨更ニ照會越シタルカ之ニ對シ本官ヨリ書面ヲ以テ重テ回答スルトキハ先方ニ揚足ヲ取ラル虞アルノミナラス徒ラニ論争ノ繁クスルニ至ルヘキヲ以テ本日赤谷副稅務司ニ對シ口頭ヲ以

テ入江「ギルクリッジ」協定ハ司法権警察權ニ關聯シ我方ノ法規並ニ一般方針ニ抵觸セサル範圍ニ於テノミ我方裁量ノ下ニ之ヲ適用スヘク岡田領事ノ意見モ全然之ト同様ナリシヲ信シテ疑ハサルト共ニ今回ノ禁制品發見ノ先後ニ關シテハ稅關及警察側ノ主張一致セサルニ付此点ハ我警察署ニ問合セアリタシト告ケ同時ニ右稅關長ニ轉知セラル様申入レタル處赤谷ヨリ日本側ハ要スルニ入江「ギルクリッジ」協定ヲ否認スル考ナリヤト反問シタルヲ以テ本官ハ再ヒ單ニ前述ノ趣旨ヲ繰返シ置キタリ赤谷ノ談ニ依レハ結局稅關長ヨリ總稅務司ニ報告スル筈ナリトノコトニ付孰レ國民政府ヨリ我在支公使ニ抗議ヲ提出シ來ルコトカト存セラルヲ以テ在支公使北平奉天南京ニ對シテハ本信寫ト共ニ参考トシテ右入江「ギルクリッジ」協定ニ關スル往復公文寫及田中外務大臣發岡田領事宛客年四月九日附條二機密第二二號訓令寫ヲ送附シ置キタリ

右報告ス

本信寫送付先

在支公使、北平、奉天、南京

201 昭和5年6月18日 幣原外務大臣より

松田(源治) 拓務大臣宛

平北知事に対し密輸取締りに協力するよう朝

鮮總督府より訓令ありたき旨依頼について

亞二機密第三四六號

昭和五年六月十八日

拓務大臣 松田 源治殿

新義州安東間密輸入取締ニ關シ朝鮮總督府ノ協力方ノ件

本件ニ關シテハ屢次照復ノ次第アル處今般在安東森岡領事

ヨリ朝鮮總督府側ニ於テハ本件取締ヲ新義州稅關側取締ノ

ミニ局限解釈シ為ニ新義州稅關長ハ朝鮮總督ヨリ取締方訓

令ヲ受ケタルモ平北知事ハ何等ノ訓令ニ接シ居ラサルカ実

際問題トシテハ本件ハ稅關側取締ヨリモ寧口新義州警察當

局ノ取締ヲ必要トル事情ニテ平北知事ニ於テモ同領事ノ依頼ニ基キ臨機ノ措置トシテ取締ヲ勵行スルモ朝鮮總督ヨリ正式ニ文書ニ依ル訓令ヲ受クルヲ便トル旨申居リタル

趣ヲ以テ右朝鮮總督府ニ照會方申請アリタルニ付テハ右事

情朝鮮總督府ニ御轉達ノ上至急本件訓令發出方御取計相成度追テ本件ニ關連シ国民政府外交部ヨリ重光代理公使宛別添譯文寫ノ如ク新義州ニ支那稅關分局ヲ設置シ度キ旨申出アリタルニ付テハ右ニ對スル朝鮮總督府側ノ意向ヲ承知致度ニ付併セテ御轉達相成度

202 昭和5年6月27日 小村拓務次官より

吉田外務次官宛

朝鮮總督府に密輸取締り方協力につき移牒した

旨並びに新義州中國稅關設置は反対の旨の通達

朝一第一九七二號

(6月28日接受)

昭和五年六月二十七日

拓務次官侯爵 小村 欣一〔印〕

新義州安東間密輸入取締ニ關シ朝鮮總督府ノ協力方ノ件

六月十八日附亞二機密第三四六號公文ヲ以テ貴省大臣ヨリ當省大臣宛照會相成候首題ノ件ハ朝鮮總督府ニ移牒致置候

尙右公文追申ヲ以テ御照會ノ新義州ニ支那稅關分局設置方ニ關シテハ同府政務總監發貴官宛公文別紙ノ通轉送候ニ付委細右ニテ御了知相成度

(別紙)

財秘第四三號

昭和五年六月十九日

朝鮮總督府政務總監伯爵 児玉 秀雄〔印〕

外務次官 吉田 茂殿

新義州ニ支那稅關分局設置方ニ關スル件

本件ニ關スル支那外交部公文在南京上村帝國領事ヨリ移牒有之候ニ就テハ右ハ專ラ貴省御所管ノ事項トハ思料スルモ客年末稅務司「ベル」(F.Hayley Bell) ナル者本件ニ關シ來訪シタル次第モアリ一應右ニ對スル本府ノ意見御参考迄左記申進候也

記

客年二月支那輸入稅率ノ引上アリタル以來朝鮮水路仕出貨物ノ安東ニ於ケル密輸入ノ増加シタル事實アルコトヲ耳ニセルガ一般ニ稅率引上ヲ見タル場合之ニ伴ヒ脫稅行爲ノ增

加スベキハ免レ難キ所ニシテ現ニ我邦ニ於テモ先年贅澤稅ヲ實施シタル以來國境ニ於ケル密輸入著シク增加シ之ガ爲多額ノ經費ヲ投ジテ鮮內監視機關ヲ充實シ以テ其ノ防止ニ努メ居レル實狀ナリ從テ安東ニ於ケル密輸入ニ付テモ專ラ支那側ニ於テ其ノ自衛手段ヲ講ズルノ外ナキモノト思料スルモ密輸入自体ハ素ヨリ其ノ原因ノ如何ヲ問ハズ極メテ遺憾ナル事實ナルガ故ニ之ガ根絶ニ付テハ出來得ル限り共助ノ措置ヲ講ズルヲ妥當ト認ムルコト勿論ニシテ右ニ關シテハ既ニ貴省ヨリ御申越ノ次第モアリ本府トシテモ新義州稅關ニ指示シ適當援助ノ措置ヲ講ゼシメ居リ著シク其ノ效果ヲ舉ゲタルモ一般ニ右取締ニ對スル支那側現場官吏ノ態度ハ左迄熱心ナラザル様見受ケラルノミナラズ甚ダンキハ請託其ノ他ニ依リ故意ニ密輸入ヲ看過スルガ如キ事例モ絶無ナラザル狀態ニシテ日本側稅關ヲシテ却テ頗ル張合ナキ感ヲ抱カシムルモノアル實狀ナルガ如シ

諷テ右密輸入取締ノ一途トシテ朝鮮側ニ支那稅關支局設置ノ問題ニ付按ズルニ支那側ハ之ガ實施ノ根據トシテ大正二年國境三分ノ一減稅取極ニ際シ兩國政府ノ間ニ交換セラレタル文書第三項ヲ引用シ居レル處右文書ハ鮮滿國境通過鐵

道貨物關稅輕減取極ニ附屬スル兩國間ノ諒解ニシテ從テ之ガ適用ハ專ラ關稅輕減ノ關係ニ於テノミ考慮スベキモノタルベク即チ右取極ハ關稅輕減ヲ受クルコトヲ得ベキ貨物ヲ「滿洲ヨリ鐵道ニ依リ新義州以遠ノ各地ニ仕向ケラルル有稅貨物及新義州以遠ノ各地ヨリ鐵道ニ依リ滿洲ニ仕向ケラルモノ」ニ限定シ居レル結果右範圍外ノ貨物ニ對シ減稅スルガ如キコトナカラシムル爲其ノ取締上必要アル場合ニ於テ朝鮮沿岸ニ民國稅關ヲ設ケシムルコトアルベキコトヲ認ムルモノニシテ即チ其ノ目的タル瞭カニ關稅輕減ニ對スル詐害行爲ヲ防止セントスルニアリテ本件ノ如ク直接關稅輕減ニ關係ナキ安東ニ於ケル一般密輸入取締ヲ豫見シ之ニ備ヘタルモノニ非ザルモノトス此ノ事タル右交換文第一項及第二項ヲ通覽シ且第三項ニ於テ鴨綠江沿岸ニ民國稅關ヲ設ケ且鐵橋ヲ通過スル車輛ニ封印スルノ權利ヲ留保スト謂ヘルニ照シ疑ナキ所ト信ズ蓋シ鐵橋ヲ通過スル車輛ニ封印スルハ新義州以遠ノ地ヨリ着車シ又ハ以遠ノ地ニ發送セラルルコトヲ確認スベキ手段ニシテ即チ專ラ鐵道通過貨物ニ對スル關稅輕減適用上ノ詐害ニ備ヘントスルニアリ而シテ

ズト認ム

以上

朝鮮沿岸ニ於テ民國稅關ノ設置ヲ承認シタルハ右施封等ノ

203 昭和5年7月14日 在南京上村領事より

幣原外務大臣宛(電報)

日本警官の中国側押収武器回収に対する国民

政府外交部より抗議につき重光宛報告

申越セリ委細公信

大臣、北平、奉天、安東へ轉電セリ

南京 7月14日前發

本省 7月14日後着

第五五一號

本官發上海宛電報

公第八號

外交部ヨリ十二日附公使館宛覺書ヲ以テ客月三日午前十時

日本警察官ハ安東停車場第五號倉庫ヨリ恣ニ同日朝安東稅

關力押收セル拳銃六十九挺彈藥七千發彈藥盒百三十八箇ヲ

持去リタルニ付稅關ヨリ日本領事ニ對シ書面ヲ以テ右ニ對  
スル領收證ヲ要求シ且前記武器彈藥ハ本件判決確定後返還  
方申入レタル處日本領事ハ之ニ應セサルノミナラス該武器  
類ハ日本側ノ押收セルモノナレハ日本側ニ於テ處分スヘキ  
旨回答アリタル趣ナルカ右ハ民國十年四月安東稅關ト同地  
日本領事トノ間ニ取極メタル禁制品押收ニ關スル辨法ニ違  
反スルヲ以テ貴代理公使ヨリ安東領事ニ對シ本件ハ右辨法  
ニ依リ稅關側ト圓滿解決スルト共ニ日本警察ニ於テ再ヒ此  
ノ種取極違反ノ行動ナキ様嚴重訓戒方至急電命アリタキ旨

去ル五月十七日發生ニ係ル鮮人密輸入團ノ稅關「フエリー  
ステーション」破壞事件ニ關聯シ當地稅關長ハ本十五日附  
ヲ以テ今回支那政府ノ職員及財產保護ノ爲武裝巡察隊ヲ設  
クルノ權限ヲ上司ヨリ與ヘラレタル處右ハ日本側ノ規則ト  
抵觸スル所ナキヤ御意見承知シタキ旨極メテ高飛車ナル照  
會ヲ本官宛發送シ來レリ依テ本官ハ早速稅關長「ベツセル」  
ヲ訪問シ斯ル制度ノ實施ハ承認ノ限りニ非サル所以ヲ説明  
シ且本計畫ハ稅關長總稅務司及財政部三者ノ内何レノ發案  
ニ係ルモノナリヤヲ確メタル處稅關長ハ自分一己トシテハ

日本力附屬地同様ノ行政權ヲ實施シツツアル安東日本買收  
地内ニ於テ斯ル制度ノ實行力可能ナリトハ考ヘ居ラス從テ  
未タ曾テ自分ヨリ斯ル發案ヲナシタルコトナク實ハ全ク財

政部關務處ノ發案ニ係ルモノナリトテ内密ニ本月八日附

安東 7月15日後發  
本省 7月16日前着

第五六號

往電第五五號ニ關シ

「メーツ」發「ベツセル」宛ノ親展書ヲ本官ニ内示セリ右  
親展書ニハ前記事件ニ對シ日本警察側ノ不取締ヲ指摘シ嚴  
重日本政府ニ抗議方財政部ヨリ既ニ外交部ニ照會濟ミナル  
ト同時ニ支那政府ノ職員及財產保護ノ爲今後安東ニ於テ武  
裝巡察隊(armed patrol)ヲ實施セシムル旨ノ財政部發  
「メーツ」宛ノ訓令寫ヲ添付シアリテ本件實施ニ關シ日本  
側ノ規則ト抵觸スル所ナキヤ事情取調ノ上具體案ヲ作製シ  
提出アリタキ旨記載シアリタルニ鑑ミ又「ベツセル」ノ  
人柄ニ照シ國民政府ノ發案ニ係ルコト疑ナキヲ認メタリ  
上海、南京、奉天、關東廳ニ轉電セリ

205 昭和5年7月15日 在安東森岡領事より  
幣原外務大臣宛(電報)

密輸取締り規則制定につき関東庁と協議あり  
たき旨意見具申

204 昭和5年7月15日 在安東森岡領事より  
幣原外務大臣宛(電報)

安東稅關長の武裝巡察隊設置計畫に対する我

が方意向確認について

安東 7月15日後發

本省 7月16日前着

第五五號

上海、南京、奉天、關東廳ニ轉電セリ

206 昭和5年7月18日 在奉天林總領事より  
幣原外務大臣宛(電報)

關係者會議ノ結果ヲ請訓ノ上差當リノ措置トシテ大體關

密輸取締り法規制定前ににおける取締り強化策  
につき意見具申

奉天 7月18日後発  
本省 7月19日後着

第三〇七號

安東ニ於ケル密輸取締ニ付テハ客年十一月關東廳ニ於ケル  
關係者會議ノ結果ヲ請訓ノ上差當リノ措置トシテ大體關  
東廳<sup>(省略)</sup>發大臣宛客年電報外第八二號ノ方針ニ依リ嚴重取締ル  
コトトナリタル處取締開始當初ニ於テハ相當ノ實績ヲ舉ケ  
タルカ如キモ最近安東領事ノ報告ニ依レハ其ノ後ノ實情ハ  
再ヒ取締開始前ノ狀態ニ還元シ幾多ノ問題ヲ惹起シ居ルハ  
御承知ノ通ナリ元來本件密輸取締ノ爲ニハ之力根本的對策  
トシテハ新ニ取締規則ヲ制定スルヲ以テ妥當且有效ト思考  
シタルモ之力爲ニハ手續上相當ノ時日ヲ要シ自然取締實行  
ノ遷延ヲ免レス當場ノ急ニ應シ得サル嫌アリシヲ以テ已ム  
ヲ得ス差當リ實行可能ノ方法ニ依リ嚴重取締ヲ實行シ其ノ  
後ノ模様ヲ見ルコトトナリタル次第ニシテ本官トシテハ前

記ノ會議ニ出席セル館員ヲシテ取締ヲ實行スヘキ一理由ト  
シテ對内的ニハ不正業者ヲ保護增長セシムルノ謂ナキト共  
ニ對外的ニハ

一、我方ノ取締ヲ遷延スルニ於テハ東三省ノ外交權ヲ掌握  
セル中央政府ハ必然中央政府ノ交渉問題トシテ事件ヲ  
重大化スル虞アルコト

二、右ノ場合ハ買收地タル關係上安東附屬地ニ於ケル我行  
政權等ノ根本問題ニ觸ル事ナキヲ保セ斯場合ニ依リ  
テハ延テ條約上ノ根據ナキ鞍山、撫順等ニ於ケル我行  
政權ノ問題ニ影響スルノ虞アル事ヲモ指摘セシメ關東  
廳側ノ深甚ナル注意ヲ喚起セシメ置キタル次第ナルカ  
安東領事ヨリノ電報ノ如ク本件密輸取締ニ關シ既ニ支  
那側ノ警察權行使問題ノ擡頭ヲ見タルノミナラス諸般  
ノ事情ヲ綜合スルニ當地方官憲ニ於テハ南京政府ノ命  
令ニ基キ滿洲ニ於ケル我方ノ所謂權益ニ關シ條約上其  
ノ他ノ點ニ付根本的研究ヲ爲シツアリト信スヘキ節  
ナキニ非サル實情ニ付テハ此ノ際之等ノ問題ヲ消極的  
ニ防止スルノ手段トシテモ本件密輸ニ對シ取締法規  
制定等根本的對策ヲ實行スル事肝要ト思考ス旁右ノ點

ニ付テハ客年往電第六四七號末段ヲ以テ本省ノ御考量

ヲ煩ハシ置キタル次第ニシテ且關東長官ニ於テモ安東

宛客年貴電第四五號ノ通差當リ安東領事稟請ノ取締方  
法ヲ實行シ模様ヲ見タントノ御意見ナリシ趣ナルニ付

テハ此ノ際至急本省ヨリ關東廳側ニ協議ヲ進メラルル  
コト致シタク尙差當リノ方法トシテハ本官累次申進

ノ通退去處分ヲ斷行スルコトモ有效ト思考ス  
安東、關東廳、上海、南京、北平ニ轉電セリ

本官發上海宛電報  
公第二二號

本官發大臣宛電報第四九〇號及安東發大臣宛第五五號ニ關  
シ

外交部長ヨリ貴代理公使宛廿日附公文ヲ以テ五月十七日事  
件發生當時ノ狀況(安東稅務司ヨリ總稅務司ヘノ報告ニ基  
ク)並關務處ヨリ總稅務司ニ對シ防衛ノ爲武裝巡察隊ヲ設  
クル様訓令セル旨ヲ述ヘ且本件ニ關シ我方ニ嚴重抗議方要  
求セル財政部ノ照會ヲ援用セル後安東一帶ニ於ケル密輸入  
ナルカ安東領事カ鐵道租借地内ニ於ケル鮮人ノ密輸入ニ對  
シ充分有效ナル措置ヲナサス事件當時モ稅務司ヨリ書面ヲ  
以テ稅關出張所ノ保護方申入レタルニ不拘尙鮮人等ノ稅關  
破壞ニ委シタルハ明ニ前記日本政府ノ趣旨ニ違フモノナル  
ニ付貴代理公使ヨリ安東領事ニ對シ首謀者ヲ逮捕シ處分ス  
ルト共ニ今後密輸事件アリタル場合ハ稅關側ト共同シ切實  
ニ嚴重取締ル様訓令アリタキ旨照會越セリ原文郵送ス  
奉天ヨリ關東長官へ轉電ヲ請フ

中國海關と朝鮮人密輸業者の衝突事件に対する  
國民政府外交部の抗議につき重光宛報告

昭和5年7月21日 在南京上村領事より  
幣原外務大臣宛(電報)

南京 7月21日後発  
本省 7月22日前着

三 安東密輸問題

207

安東密輸問題が東北地方の我が方權益問題に飛  
び火せぬよう取締り強化が必要との意見具申

上　　海　　7月23日後発  
本　　省　　7月23日後着

## 奉天發閣下宛電報第三〇七號ニ關シ

我方トシテ本件密輸入防止ノ爲速ニ充分ノ措置ヲ執ル必要アル事情ハ林總領事ヨリ詳細稟請ノ通ナル處御承知ノ通支那側ニ於テハ數年來各地ニ激増セル密輸防止ノ爲百方努力シ居ルモ之等密輸ハ香港九龍廈門臺灣安東ノ如ク外國領土又ハ租借地等外國ノ管治ノ下ニアル土地ヲ利用シテ行ハルモノナルヲ以テ支那側トシテ之力徹底的取締ヲ實行スル

爲ニハ關係國側ノ協力ニ待ツノ外ナク現ニ香港政廳トノ間ニ協定交渉中ニシテ該交渉ハ支那側カ香港在籍ノ船舶沿岸

貿易權ヲ認メサル等ノ爲行惱ミ居ルモ英國側トシテハ相當ノ好意ヲ表シ居ル次第ハ御承知ノ通ニ有之密輸取締ノ問題

ハ此ノ儘ニテハ早晚更ニ日支間重要ナル國際問題トナルヘ

北平、南京、奉天、安東へ轉電セリ

209 昭和5年7月25日 在安東森岡領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

安東海關出張所襲撃者の処分と朝鮮總督府およ  
び關東府は徹底取締りに遂巡の模様につき報告

付 記 十月三十日付在奉天森島領事より谷亞細亞

キニ付我方トシテ右取締ニ付遲滯無ク充分ノ措置ヲ執ルコト事宜ニ適スヘク尙本件ニ付テハ南京發本官宛電報第三一三號新義州ニ支那稅關分局設置方ニ關シ大正二年伊集院「アグレン」ノ交換公文ヲ楯トシテ支那側ヨリ申出來リタル處右交換公文取極メ當時ノ事情ハ當館記錄ニハ明カナラサルモ右モ此ノ際本件ト關聯シテ考量ノ必要アルヘク要スルニ支那側ヲシテ密輸問題ニ藉ロシテ滿洲權益ノ問題ニ手ヲ染ムルノ餘地無カラシムルコトモ素ヨリ肝要ニテ冒頭林總領事電報ノ如ク關東廳ヲシテ速ニ取締法規ヲ制定セシメラルルト共ニ差當リノ措置トシテ退去處分ヲ斷行セラルル外現在ノ事情ノ下ニ於テ出來得ル限リノ取締方法ヲ執ラシメラルルコト必要ト思考セラル

## 第六一號（極秘）

## 局第一課長宛書翰

本省宛電信の転送取扱いにつき注意された  
旨要請

安　　東　　7月25日前發  
本　　省　　7月25日後着

五月十七日安東稅關ヲ破壊シタル鮮人六名ハ法廷ニ於テ審理ノ結果六月十七日附ヲ以テ一名ハ不起訴五名ハ各懲役三ヶ月ニ付執行猶豫ノ判決ヲ與ヘタルニ付必要ニ依リテハ外交部長ヘ御通知相成度ク尤執行猶豫ノ點ハ之ヲ秘密ニスル方然ルヘシト存ス尙奉天發外務大臣宛電報第三〇七號及上海發外務大臣宛電報第七四二號各末段ニ關シ當座ノ措置トシテ退去處分ヲ斷行スルコトハ前任宇佐美領事時代ヨリケル有力本邦人及鮮人雜貨商ノ殆ト全部並ニ新義州側一部ノ日本人及鮮人商人直接間接ニ關係シ（支那人ハ極メテ少シ）其ノ手先トシテ働ク鮮人ハ家族共約二千人ニ上リ安義兩方面ノ本邦人生業ニ重大ナル利害關係ヲ有スル爲突然之

上海、奉天、北平、南京へ轉電セリ

編注一 「重大」の後に「問題」との書き込み訂正あり。

編注二 「ハ」の箇所に「ノミナラス」との書き込み訂正あり。

(付記)

機密

拜啓陳者本日旅順ヨリ出張ノ河相外事課長ノ談ニ依レハ安東密輸取締ニ關スル安東領事發本省宛往電ヲ他ノ關係書類ト共ニ本省ヨリ拓務省ニ廻送セラレ今回小村拓務次官ヨリ關東長官宛右寫轉送アリタル處右ノ内七月下旬森岡安東領事發外務大臣宛極秘電(極秘ナル爲特ニ當時關東廳宛轉電ヲ差控ヘタルモノ)ヲ含ミ居リ同電後段ニ「現ニ本官力京城及旅順ニ出張シ兩地官憲ト接衝シテ得タル印象ニ依レハ總督府及關東廳側ノ實際ノ意向ハ外務省側ノ徹底的取締方針ト多大ノ懸隔アルカ如ク特ニ今回本官及高山署長ノ旅順出張ハ本件取締打合ニ關スル要件ナリトノ推察ニ基キ當地商工會議所會頭ハ昨日來安セル關東廳内務局長ニ對シ密輸綜合スルニ唯一最善ノ方法ハ外務省ヨリ此ノ際關東廳及朝鮮總督府側ヲ押シ付ケ速カニ取締法規ヲ制定セシメ云々」テ其含ミニテ措置アリ度旨嘆願シタル趣モアリ之等事情ヲシ居リ小生等出先機關トシテハ日常瑣細ノ事項ニ付テモ之取扱上慎重ナル注意ト手心ヲ用キ居ル實情ニモ有之今後此種問題續發スルニ於テハ出先官憲ハ執務上事件ノ眞相乃至腹藏ナキ意見ノ上申ニ付手加減ヲ加フルノ已ムナキニ至ルコトアリ得ヘク結局國務全般ノ進捗ヲ妨クルカ如キ結果ヲ招致スヘキ虞モ有之旁卑見ノアル所充分御酌察相願度此段得貴意候

昭和五年十月三十日

在奉天

敬具

トアリテ右ハ本省及奉天限リヘノ極秘ノ忌憚ナキ意見上申ナルカ本省ニ於テ之ヲ其儘拓務省ヘ廻付セラレタル結果ハ

外務省亞細亞局

谷第一課長殿

森島領事

210 昭和5年8月2日 在中國重光臨時代理公使より

幣原外務大臣宛

安東中國海關押収武器問題に關してギルクリツ

シユとの取決めを一方的に破棄することには

反対との意見具申

機密公第一六七號

昭和五年八月二日

在支那

臨時代理公使 重光 葵〔印〕

外務大臣男爵 榮原 喜重郎殿

安東ニ於テ押収禁制品ニ關スル件

本件ニ付テハ不取敢電報シ置キタルカ當方ニハ關係記錄揃

ヒ居ラサル爲メ詳細ノコト判明セサルモ在安東森岡領事發閣下宛公信六月十日附機密第二二六號及全月十一日附機密第二三七號ニ依ルニ鐵道ニ依リ朝鮮ヨリ安東ニ輸入セラル

自然安東領事對關東廳間ニ感情問題ヲ起スコトアルヘク却テ取締法規ノ實現ヲ阻害スル虞アルニ付差當リ河相外事課長ノ裁量ニ依リ本件書類ヲ中間ニテ留保シ上局及廳内關係ノ向ヘ回覽ヲ見合ハセ居レリトノ趣ニ有之候此種外務省關係者限りニテ含ミ置クヘキ極秘電報ノ寫ヲ其儘拓務省ヘ廻付セラレタル事ハ徒ラニ出先官憲ノ立場ニモ迷惑ヲ及ホスニ至ルニ付本省ニ於ケル關係取扱者ニ對シ今後充分注意方御配慮ニ預リ度御承知ノ通當地方ハ本邦側諸機關併存シ居リ小生等出先機關トシテハ日常瑣細ノ事項ニ付テモ之取扱上慎重ナル注意ト手心ヲ用キ居ル實情ニモ有之今後此種問題續發スルニ於テハ出先官憲ハ執務上事件ノ眞相乃至腹藏ナキ意見ノ上申ニ付手加減ヲ加フルノ已ムナキニ至ルコトアリ得ヘク結局國務全般ノ進捗ヲ妨クルカ如キ結果ヲ招致スヘキ虞モ有之旁卑見ノアル所充分御酌察相願度此段得貴意候

右申進ス

本信寫送付先 北平 奉天 安東 南京

211 昭和5年9月3日 幣原外務大臣より  
在安東森岡領事宛

入江・ギルクリッシュ協定を遵守するよう回訓

條二機密第五一號

昭和五年九月三日

外務大臣男爵 幣原 喜重郎

在安東

領事 森岡 正平殿

安東ニ於ケル押收禁制品ニ關スル件

本件ニ關シ六月十日附機密第二二六號及同月十一日附機密第二三七號貴信ヲ以テ御報告ノ趣了承然ル處貴信ニ依レハ本件禁制品ハ貴地警察力押收前已ニ稅關ニ於テ押收シ倉庫ニ收容シ置ケルモノノ如クニテ現實ニ警察側力先ニ發見シタルモノニ非スシテ單ニ國際運輸株式會社店員ニ依リ先ニ發見セラレタルノ故ヲ以テ我方ニ於テ先ニ發見シタリト主張スルハ當ヲ得タルモノニ非ルニ付不取敢先方ニ對シ領收

入江・ギルクリッシュ協定の事實上の無効化  
を図る措置として密輸品を中國側に渡すとの

重光宛報告

212 昭和5年9月25日 在安東米沢(菊三)領事より  
本官發上海宛電報第一四號  
第九二號  
安 東 9月25日前發  
本 省 9月25日後着

貴電公第二號ニ關シ  
密輸犯人ハ目下大阪ニテ審理中ナルニ付其ノ決定ヲ待チ先方ニ返還スル意図ナリ但シ右返還ニ際シ將來我方ニ於テ先ニ發見シタル場合ニハ我方ニ於テ押收スルノ慣例ヲ造リ事實上入江「ギルサンリッシュ」協定ヲ無効ニ歸セシムル措置トシテ今回ハ支那側ニ於テ先ニ發見シタル理由ニ依リ先方ニ引渡スモノナルコトヲ明カニシ置ク所存ナリ  
外務大臣へ轉電セリ

213 昭和5年10月6日 松田拓務大臣より  
幣原外務大臣宛

朝鮮總督府から新義州警察當局に密輸取締協

力方正式訓令は不可との回答について

朝一第二四五二號

(10月7日接受)

拓務大臣 松田 源治〔印〕

昭和五年十月六日

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿  
新義州安東間密輸入取締ニ關スル件

本件ニ關シ六月十八日附亞二機密第三四六號ヲ以テ御申越

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿  
在安東

領事 米澤 菊二〔印〕

214 昭和5年10月8日 在安東米沢領事より  
幣原外務大臣宛

中国海關派出所に日本人海關吏常置方申し入れに対するベッセル海關稅務司の回答振りについて

(10月13日接受)

機密第四〇四號

昭和五年十月八日

金塊密輸出ニ關聯シ鐵橋々側海關派出所前ニ於ケル朝鮮婦人擗殺事件ニ關スル件

九月二十八日正午鴨綠江鐵橋々側支那海關派出所前ニ於テ内鮮人共謀ノ金塊密輸出事件發覺シ支那人海關員トノ間ニ論争ヲ生シ居リタル際偶々通り合セ見物中ノ一鮮婦人力兩者ノ鬭爭ノ爲メ棚外鐵路ニ押シ出サレ折柄進行シ來レル列車ニ擗殺サレタル事件ニ關シテハ本月一日附機密第三八八號拙信ヲ以テ報告申進メ置キタル處右事件ニ關シ我警察側ニ於テ取調ヘタル結果ニ依レハ海關側ニ於テ直接責ニ任スヘキ過當ノ行爲アリタルニ非サルコト判明シタルモ鮮人側ニ於テハ右ノ慘事ハ海關員ノ横暴ナル行動ニ基因スルモノナリトシテ激昂甚シク密ニ復讐ノ機ヲ窺ヒ居レル仕末ニシテ目下極力警戒中ナル處元來此種事件ハ鮮人ニ於テ其ノ日本臣民タルコトヲ鼻ニカケ支那人海關員ヲ馬鹿ニスルト同時ニ支那人海關員ニ於テモ鮮人ヲ亡國民トシテ馬鹿ニスル一種微妙ナル心理作用アルカ上ニ言語ノ不通ヨリ生スル行違モ手傳ヒテ惹起サルル場合多キハ否ミ難ク從テ今後鐵橋々側支那海關派出所ニ日本人海關吏ヲ常置スルコトセハ密輸事件其ノモノニハ左シタル影響ナシトスルモ之ニ付隨シ

215 昭和5年10月31日 在安東米沢領事より  
本信寫送付先 在支公使、北平、上海、南京、奉天  
……  
在安東米沢領事より  
幣原外務大臣宛

由布海關長談話要領報告ノ件

昭和五年十月卅一日 在安東

領事 米澤 菊一

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

由布海關長談話要領報告ノ件

ベツセル帰国に際して由布副稅務司と密輸取締りに關し會談について

機密第四三七號

昭和五年十月卅一日

今回退職歸英スルコトナリタル安東稅關長「ベツセル」

稅務司ハ二十七日同氏ノ後任來着迄ノ間臨時稅關長ノ任ニ就キタル由布副稅務司（赤谷副稅務司ノ後任トシテ本月十七日來任）ヲ帶道シ挨拶ノ爲メ本官ヲ來訪シタルカ豫テ本官ハ稅關長交迭ノ機ヲ促ヘ後任稅關長ニ篤ト當館ノ方針ト立場トヲ了解セシメ置クコトノ必要且有利ナルヲ信シ其ノ機ヲ待チ居タル矢先トテ早速由布副稅務司ニ對シ此際充分諸事件ヲ列舉シテ當方ノ立場ヲ説明シ殊ニ密輸取締ニ關スル我警察官ノ誠意アル援助協力ハ支那側ニ於テ感謝シテ然

ルヘキ義ナルニ拘ラス從來稅關側ニ於テハ兎角事實ヲ曲ケテ上司ニ報告シ一切ノ非ヲ我ニ稼スルノ風アル様見受ケラル處斯くてハ徒ニ事件ノ解決ヲ遷延惡化セシムルノミナラス延ヒテハ兩國官憲ノ感情ヲ缺隔シ事毎ニ反目對峙スルノ事態ヲ釀成スルノ因ヲ爲ス虞アリト思考セラルニ付テハ今後ハ相互ニ能ク連絡ヲ圖リ誠意ヲ以テ協調ノ實ヲ擧クルコトヲ首眼ト致度旨希望シタルニ同氏ハ一々之ヲ首肯シタル後至極打解ケタル態度ニテ種々先方ノ内情ヲ打明ケタルカ内主ナル點左ノ通

一、曩ニ「ベツセル」稅務司ノ後任ニ決定シタル「ロウフオード」稅務司ハ非常ナル排日家ニシテ自分ハ同氏力日支國境ニ位シ事端ヲ釀シ易キ安東ニ來任スルハ對日關係ニ於テ愈々問題ヲ滋クスル虞アリト内心憂慮シ居タル次第ナルカ今回青島ニ赴任スルコトナリタルハ誠ニ幸ト云フヘク此突然ノ變更ハ同氏自身安東ノ特殊地位ト自己ノ排日的色彩トニ鑑ミ將來種々ノ面倒ヲ惹起シ結局自己ニ不利ナル結果ヲ招來スヘキヲ慮リ自ラ進テ安東在勤ヲ辭退シ他ヘ轉出方總稅務司ニ運動シタルニ基クモノナリ

テ生スル此種不詳事ノ再發ヲ未然ニ防止スルニ付尠カラサル效果アリト認メラレタルヲ以テ本官ハ警察署長ノ意見ヲモ徵シタル上本月四日支那海關ニ「ベツセル」稅務司ヲ往訪シ右ノ趣旨ヲ敷衍說明シ其ノ實現方ニ付何分ノ考慮ヲ希望シタル處同稅務司ハ近年支那ニ於ケル排外運動ハ驅テ諸權ノ回收熱ヲ育ミ其ノ氣運ノ一端ハ遂ニ海關内ニモ浸潤シ盛トナリ今日ニ於テハ外國人海關員ノ欠員ハ着々支那人ヲ以テ之ニ替フルニ至レル爲メ最近外人吏員ハ著シク其數ヲ減スルニ至リタル實狀ハ御承知ノ通リニシテ一方御申出ノ件實現ニ付テハ派出所輸入及輸出ニヶ所晝夜交替ニテ結局四名ノ日本人ノ配置ヲ要スルコトナリ人繩上渺カラサル困難アルヘキモ御趣旨ハ一應尤モノ次第ニ付成ルヘク貴意ニ添フ様努力スヘシト答ヘタリ

二、先般當安東ニテ起レル朝鮮兵器部ヨリ奉天守備隊宛發送セル軍需品ノ實力通關問題ハ「ベツセル」稅務司ヨリ稅務處ニ報告シタルヲ以テ結局日支兩政府間ノ交渉問題トナルヘキ處卑見ニ依レハ滿洲ニ於ケル我守備隊ノ駐屯ハ特殊ノ條約歴史トヲ有シ居リ上海天津等ニ於ケル各國警備兵トハ全然其ノ性質ヲ異ニスルヲ以テ曩ニ中國政府カ之ヲ同一ニ律シ護照及查證ノ手續ヲ一般的ニ總テノ海關ニ適用スルコトシタルハ行キ過キタル嫌アリ固ヨリ稅關長トシテハ上司ノ訓令ヲ遵奉スヘキハ勿論ナレトモ先般ノ問題ノ如キ「ベツセル」稅務司ニ於テ今少シク右ノ事情ヲ酌ミ手心ヲ加フル所アリタリトセハ地方的ニ解決スルコト必シモ困難ナラサリシナルヘシ

三、本春ノ六道溝鮮人騒擾事件以來「ベツセル」稅務司ハ稅關吏員ノ身邊ノ保護方法ニ付腐心シ居タルカ最近十二名ノ警備員ヲ雇入レ之ヲ用心棒トシテ棍棒ヲ所持セシメ附屬地江岸ヲ監視セシメ始メタルニ對シ貴領事ヨリ右ハ却テ民衆ノ反抗心ヲ煽り事端ヲ惹起シ易キヲ以テ之カ携帶ヲ差止メラレタキ旨申越アリタル處本件ハ

局宇佐美課長（同課長承諾済）ノ出席ヲ得度所存ナル旨答ヘタリ

（欄外記入）

刑務局長ハ十四、五日發上京ノ筈故ニ十七日頃本會議開催ノ提議アリ（谷亞細亞局長サイン）

217 昭和5年11月18日 拓務省 協議  
外務省  
関東庁  
朝鮮総督府

第一回安東密輸入取締會議錄

第一回安東密輸入取締會議錄

(一)時日、昭和五年十一月十七日午後二時半開會同四時半散會

(二)場所、拓務大臣官邸

(三)出席者

(イ)拓務省 小坂政務次官 次官（議長）

右何等御參考迄報告申進ス  
本信寫送附先 北平、上海、南京、奉天、青島

ハキハ勿論ナレトモ先般ノ問題ノ如キ「ベツセル」稅務司ニ於テ今少シク右ノ事情ヲ酌ミ手心ヲ加フル所アリタリトセハ地方的ニ解決スルコト必スシモ困難ナラサリシナルヘン

本春ノ六道溝鮮人騒擾事件以來一ヘンゼル「稅務官」ノ  
稅關吏員ノ身邊ノ保護方法ニ付腐心シ居タルカ最近十  
二名ノ警備員ヲ雇入レ之ヲ用心棒トシテ棍棒ヲ所持セ  
シメ附屬地江岸ヲ監視セシメ始メタルニ對シ貴領事ヨ  
リ右ハ却テ民衆ノ反抗心ヲ煽リ事端ヲ惹起シ易キヲ以  
テ之カ携帶ヲ差止メラレタキ旨申越アリタル處本件ハ

局宇佐美課長（同課長承諾済）ノ出席ヲ得度所存ナル旨答  
ヘタリ

（欄外記入）  
刑務局長ハ十四、五日發上京ノ筈故二十七日頃本會議開催ノ  
提議アリ（谷亞細亞局長サイン）

昭和五年十一月十八日  
關拓外  
東務務  
廳省省  
協議

# 第一回 安東密輸入取締會議錄

(一時日 暁和五年十一月十七日午後二時半開會同四時半散  
會

(二) 場所、拓務大臣官邸  
(三) 出席者

小村 次官（議長）  
坂政務次官

午後二時半開會小村拓務次官議長席ニ著キ一應挨拶ノ後本件ニ關スル外務省、關東廳及朝鮮總督府側意向ノ開陳ヲ求

谷 佐美 通商局第二課長  
亞細亞局長  
宇佐美 通商局第二課長  
永 岩 事務官  
事務官

(八) 朝鮮總督府 西山財務部長  
森岡 警務局長  
財務局長

(口) 關東廳 小河 殖田 殖產局長  
森重 井 村 曹記官 朝鮮部第一課長  
事務官 管理局第二課長

〔ベツセル〕税務司ヨリ總稅務司宛請訓中ナルモ不取  
敢總稅務司ヨリ回訓アル過ハ成ルヘク之カ所持ヲ制限  
シ止ムヲ得サル場合ニハ懷中セシムルコトニ取計フコ  
トトセリ

右何等御参考迄報告申進ス

本信寫送附先 北平、上海、南京、奉天、青島

216 昭和5年11月8日

拓務省より安東密輸問題につき外務省と会合  
を行いたい旨の申し入れについて

安東密輸入問題 (五、十一、八)

昭和五年十一月八日拓務省朝鮮部小河第一課長來省安東密輸入問題ニ關シ目下關東廳ヨリ警務局長及財務部長、朝鮮總督府ヨリ財務局長上京中ニテ尙朝鮮總督府警務局長モ近々上京此ノ際關係者ノ會合ヲ催シテハ如何力谷亞細亞局長ノ意見ヲ承知致シ度旨申出、尙係官ヨリノ問ニ對シ期日ハ十一月十一日過キ拓務省ヨリハ小村次官、同課長並管理局係員出席スルコト外務省ヨリハ谷亞細亞局長及係官ノ外通商

メ 谷亞細亞局長、中谷關東廳警務局長及森岡朝鮮總督府警務局長ヨリ夫々左ノ通述フル所アリ

谷亞細亞局長 自分一個ノ當座ノ思付ヲ述フレハ本件密輸入取締問題ハ其推移如何ニ依リテハ滿洲ニ於ケル我附屬地ノ「ステータス」ニモ甚大ノ影響ヲ及スヤニ觀取サレ旁輕視シ得サル問題ニシテ政治的並法律的見地ヨリ充分考察スル必要アル次第ナルカ最近支那ノ状勢モ著シク變化シ南京側及奉天側ノ關係モ密接トナレル傾向モアリ且又最近香港側ト支那側トノ間ニ密輸入取締方ニ付協定成立シタルヤノ情報モアリ此際我方ニ於テモ目ニ余ルカ如キ密輸行爲ハ嚴重取締リ度ク右ハ單ニ正當ナル營業者ヲ保護シ大局上公正ナル我對滿經濟發展ヲ助長セシムルノミナラス延テハ附屬地ノ「ステータス」ヲ確固タランムル所以ナルヘク之<sup>(註)</sup>取締具体策トシテハ(一)朝鮮内ニ於ケル支那稅關出張所ノ設置方ヲ要求スル支那側言分ハ適當ナラサルノミナラス實情トシテモ今日直ニ之力設置ノ必要アリトハ思考セラレサルニ付本件ハ將來之力必

締法規ノ制定方ハ中央ノ御命令アラハ行フヘキモ之ニ伴フ警察官増員及朝鮮總督府側援助ハ是非御考慮願度

森岡朝鮮總督府警務局長 朝鮮總督府トシテハ本件密輸入取締ニ協助ヲ與フルニ吝ナラサルモ之力爲進ムテ朝鮮内ニ支那稅關ノ設置ヲ許容シ若クハ法規ヲ制定スルカ如キコトハ爲スヘカラサルモノナリト考ヘ居レリ元來密輸入ハ輸入地側ニ於テ取締ルヘキ筋合ニテ例ヘハ從來支那側ヨリ燒酒、粟、烟草、牛等ヲ朝鮮内ニ密輸入スルモノ多ク殊ニ病牛ノ密輸入ニハ閉口シ居ルモ朝鮮側ハ之力取締ヲ支那ニ求メ居ラス朝鮮自身ノ力ヲ以テ取締リ居ル有様ナリ尙關東廳側ニ於テ取締規則ノ制定アラハ朝鮮側トシテモ取締リ易カルヘク又取締ノ効果モ大ナラム

尙安東ニ於ケル實狀ニ付宇佐美通商局第二課長ヨリ詳細説明アリ本件取締ノ効果ヲ舉クル爲ニハ少ク共安東附屬地内法規ノ制定ハ是非共必要ナル旨併セテ説明アリ次テ小村拓務次官、谷亞細亞局長、森岡朝鮮總督府警務局長、林朝鮮總督府財務局長、中谷關東廳警務局長トノ間ニ夫々二三ノ應酬アリテ後小坂拓務政務次官ヨリ本件ハ支那側ヨリ朝鮮ヘノ密輸入取締方モ併セテ研究ノ要アリ單ニ安東密輸入取

(一)場所 拓務大臣官邸

## 第二回安東密輸入取締會議錄

第二回安東密輸入取締會議

218 昭和5年11月20日 外務省  
関東拓務大臣  
協議

編注一 「ヨ」を「カ」と書き込み訂正あり。

編注二 「ノ」の後に「召」の書き込み訂正あり。

(昭五、十一、十八永岩記)

締打合會議トセス廣ク鮮滿國境密輸出入取締會議トシテハ如何トノ提案アリ一同異議ナク最後ニ小村拓務次官ヨリ次回會議ハ十九日午前十時半ヨリ拓務大臣官邸ニ於テ小委員會ノ形式ニ依リ開會シ同委員會ニ於テ基礎案ヲ作成シ外務、拓務兩大臣ニ上申スルト共ニ關係官廳ノ協助ヲ求ムルコトト致シ度キ旨提案アリ全員同意シ四時半散會

要ヲ生シタル場合ニ於テ右伊集院「アグレン」協定ヲ離レ新問題トシテ改メテ研究致シ度尙(一)取締法規ノ制定ニ付テハ關東廳ト朝鮮側ニ於テ各々立場モ自ラ異ルヘキニ付差當リ關東廳令等ノ形式ヲ以テ附屬地内密輸行爲ノ取締ヲ行ヒ朝鮮側法規ノ制度ハ第二段ノ措置トシテ考慮スルモ已ヲ得サルヘキモ朝鮮側ハ從來若シクハ從來以上ニ安東側ト密接ナル連絡ヲ保チ實質的ニ本件取締ヲ協助スルト共ニ鮮人側ニ對シテハ密輸行爲ノ決シテ正當ナル生業ニアラサル所以ヲ篤ト訓戒シ正業ニ轉換セシムル様仕向ケラレ尙之カ救濟方ニ付テモ何分御考慮アリ度

中谷關東廳警務局長 本件密輸入ハ客年二月支那側新稅率ノ適用以來頓ニ增加シタル所ニシテ關係邦人ハ在安東邦商ノ大部分ヲ網羅シ大規簿<sup>(註)</sup>ニ行ヒ居ル現狀ニテハ只一

片ノ說諭位ニテハ之力根絶ハ到底期シ難シ結局實力ヲ以テ取締ルノ外ナキモ之トテ現在ノ警察官ヲ以テ江岸一里二十町ニ亘ル密輸區域ヲ取締ルハ困難ニテ警察官増員ハ是非必要ナルヘシト思考セラルモ經費節減ノ折柄右増員御許可ナラストスレハ從來通り警察官ヲ遺練シ非番巡査<sup>(註)</sup>等ニ依リ取締ルノ外ナカルヘク又附屬地内取

## (三)出席者

## (1) 拓務省

## (イ) 外務省側ニ於テ採ルヘキ方法

第一 中華民國稅關分局ヲ新義州ニ設置ノ要求ハ之ヲ拒

絶スルコト（原案）

谷亞細亞局長ヨリ右ハ大體結構ナルモ「〔註〕拒絕」ハ將來ノ

國策ヲ拘束スルヤノ印象ヲ與へ面白カラサルニ付之ヲ

「考慮セサルコト」ト改メ度キ旨提案シ次テ二三ノ應酬

アリテ後本項ハ左ノ通訂正スルコトナレリ

第二 南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル中華民國稅關吏ノ武

裝並職務ノ強制執行ノ要求ハ之ヲ拒絶スルコト（訂正案）

第一 中華民國稅關分局ヲ新義州ニ設置ニ關スル今回

ノ要求ハ之ヲ考慮セサルコト（訂正案）

## (ロ) 關東廳

中 谷 警務局長

西 山 財務部長

## (ハ) 朝鮮總督府

森 岡 警務局長

林 財務局長

## (二) 外務省

谷 亞細亞局長

宇佐美 通商局第二課長

永 岩 事務官

## (四) 議事

谷 亞細亞局長

宇佐美 通商局第二課長

永 岩 事務官

小河課長（幹事）挨拶ノ後拓務省配布ニ係ル別紙第一號關係官廳ノ取締辦法案ニ付隔意ナク意見ノ交換アリ度キ旨ヲ述ヘ直ニ外務省關係ノ分ニ付討議ニ入ル

右ニ付テハ谷亞細亞局長ヨリ本項ニ關スル帝國政府ノ態度ハ既ニ決定シ居リ支那側ニ對シテモ拒絶ノ旨申入レノ次第モアリ今更本會議ニ於テ論議スル必要ナカルヘキニ付本項ハ削除シ度キ旨提案シ全員同意シ尙將來支那側ヨリ同様ノ要求アル場合ニハ既定ノ方針ニ依リ拒否スルコトニ意見ノ一致ヲ見タリ

第三 中華民國稅關側トノ連絡ヲ密ニシ保護要求ニ關

## (ロ) 關東廳側ニ於テ採ルヘキ方法

## 第一 關東廳令ヲ以テ取締規定ヲ設クルコト（原案）

職務執行ニ付注意ヲ喚起スルコト（訂正案）

## (ハ) 關東廳側ニ於テ採ルヘキ方法

## 第一 關東廳令ヲ以テ取締規定ヲ設クルコト（原案）

小河課長ヨリ本件ハ曩ニ米、鹽ノ例モアリ（別紙第二號參照）附屬地ノ治安ヲ維持スル爲ニハ是非取締規則ヲ制定シ度キ旨說明アリ次テ森岡朝鮮總督府警務局長ヨリ本件規則ハ警察取締法規ナリヤ稅關取締法規ナリヤノ質問ニ對シ小河課長及中谷關東廳警務局長ヨリ警察取締法規ナル旨並關東廳ニハ夫レ以外ニ權限ナク從テ警察法規以外ハ勅令ニ依ル外ナキ旨答辯アリ尙本項ハ第二項取締勅行ト共ニ關東廳側ト拓務省側ト意見ノ相違ヲ來シ妥協困難ナル狀アリタルモ結局原案通可決セリ

シテハ直ニ之ニ應スルト共ニ中華民國側稅關ニ於テ專斷苛酷ノ取扱ヲ爲シ事端ヲ釀スコトヲ避ケシムルコト（原案）

右ニ付小河課長ヨリ「專斷苛酷」トハ支那側稅關ノ密輸鮮人ニ對スル傷害虐待等ヲ意味スル旨說明アリ次テ森岡朝鮮總督府警務局長ヨリ支那側稅關トノ連絡ヲ密ニスルノ必要ナカルヘントノ意見出タルニ對シ宇佐美課長及小河課長ヨリ現在附屬地内ニハ支那側稅關吏出張シ居リ強制權ハ有セサルモ徵稅シツツアル次第ニテ支那稅關側トノ連絡ハ必要ナル旨說明シ又宇佐美課長ヨリ本件密輸入取締方ニ關シテハ支那側ノ保護要求ヲ俟タス我方ニ於テ積極的ニ保護措置ヲ講スルノ必要アルヤニ思考セラル處右ニ付テハ關東廳ニ於テモ篤ト考慮セラレ度キ旨私見トシテ附言シ最後ニ谷亞細亞局長ヨリ「保護要求ニ關シテハ直ニ之ニ應スルト共ニ云々」ハ事關東廳ニ關スル所ナルニ付本項ヨリ削除セラレ度キ旨提案アリ種々討議ノ結果本項ハ左ノ通訂正スルコトトナレリ

## 第二項 右法規ノ公布ト共ニ之力取締ヲ勵行スルコト

## (原案)

本件ニ付中谷關東廳警務局長ヨリ關東廳側トシテハ法規ヲ制定シ嚴重取締ニ著手スル以上徹底的ニ不正分子ヲ掃蕩シ度ク之力爲ニハ現在ノ警察官數ニテハ不足ナルニ付増員スルヲ要シ增員數ハ三ヶ所ノ派出所ニ派遣

スヘキ六名宛計十八名ノ外水上勤務十二名總計三十名之力經費一名約一、五〇〇圓ノ割ニテ金四萬五千圓ヲ要スル次第二付右經費ノ點ハ中央ニ於テ是非共考慮セラレ度キ旨要求アリタルニ對シ小河課長ヨリ經費ノ點ハ關東廳限リニテ遣繰スヘキ所ニテ本委員會ニ於テ考究スルハ適當ナラスト反駁シ次テ中谷關東廳警務局長ノ質問ニ對シ右ハ自分一個ノ意見ナルモ拓務上局ニ於テモ恐ラク同様ノ意見ナルヘシト思考スル旨並本件ニ付テハ上局ヨリ各官廳ニ於テ當然ノ責務ヲ行フモノナリトノ心持ヲ以テ協議スヘキ旨内令アリタリト披露シ元來附屬地内密輸取締ハ附屬地内治安維持ニシテ當然關東廳ノ責務ナリ從テ之カ爲要スル經費ハ當然關東廳限りニテ措置スヘキモノナリト確言シタルカ右ニ對シテハ關東廳側中谷警務局長及西山財務部長ハ密輸取締ハ支那側本來ノ任務ニテ之ヲ援助スル爲我方ニ於テ附屬地内密輸行爲ヲ取締ルハ關東廳當然ノ責務ニアラスト主張シ双方讓ラス一時緊張ノ色アリタルモ殖田拓務省殖產局長、朝鮮側森岡、林兩局長ヨリモ交々本委

尚本會議ニ於テハ總督府側ヨリ要求アリタル結果左ノ一項ヲ追加スルコトニ決定セリ

第三 支那側ヨリ新義州ヘノ密輸出ニ付テハ朝鮮側ニ二折合ヒタリ

尚本會議ニ於テハ總督府側ヨリ要求アリタル結果左ノ一項ヲ追加スルコトニ決定セリ

(イ)朝鮮總督府側ニ於テ採ルヘキ方法

第一 朝鮮側稅關ニ於テ誠意ヲ以テ密輸入ノ取締ニ協力スルコト右具体的方法ハ新義州稅關長ト安東領事トノ間ニ於テ打合取決ヲ爲スコト(原案)

第二 朝鮮側警務當局ニ於テハ朝鮮側稅關ノ安東密輸入ノ取締ニ關シ協助スルコト(原案)

右ニ付朝鮮側森岡及林兩局長ヨリ第一項「誠意ヲ以テ」ハ從來朝鮮側ニ於テ恰カモ誠意ナキカ如キ印象ヲ與ヘ

面白カラサルニ付削除アリ度キ旨要求シ尙具体的方法打合ニ付テハ中谷關東廳警務局長ヨリ安東領事、新義

州稅關長、安東警察署長等ヲ以テ常置機關トシテ連絡委員會設置方提案アリ種々討議ノ結果右ハ朝鮮側ニノミ關スル事項ニアラサル故ヲ以テ一般事項トシテ最後

二列舉スル方適當ナリトノ意見ニ一致シ本項ヲ左ノ通

訂正スルト共ニ別ニ二項ヲ追加スルコトセリ(二)關係官廳ノ採ルヘキ方法參照)

第一 朝鮮側稅關及警務當局側ニ於テ安東側ト今後一層緊密ナル連絡ヲ執リ密輸入ノ取締ニ協力スルコト(確定案)

(二)關係官廳ノ採ルヘキ方法

第一 右具体的方法ハ地方關係者ニ於テ時々會合ノ上右趣旨ノ徹底ニ關スル打合ヲ爲スコト(確定案)

第二 本取締ト共ニ密輸關係者ノ善導ニ付遺憾ナキヲ期スルコト(確定案)

尙本會議ニ於テ地方關係者ハ在安東領事、平北警察部長、

安東警察署長、新義州稅關長等ヲ包含スルコトニ了解シ尙本會議ニ於テ確定シタル基礎案ハ拓務省側ニ於テ印刷ノ上

(別紙第二号)  
参考

關係各官廳ニ送付スルコトニ打合セ午後零時半散會セリ  
(昭五、十一、二十、永岩記)

關東州外南滿洲鐵道附屬地内鹽取締規則(大正六年五月四日關東都督府令第六號)

第一條 密輸入其ノ他正當ノ手續ニ依ラサル鹽ノ販賣授受所有又ハ所持ヲ禁ズ  
第二條 原鹽ヲ再製セムトスル者ハ所轄警務署長又ハ警務支署長ノ許可ヲ受クヘシ  
第三條 前二條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス

第一條ニ違反シタル者ノ所有又ハ所持スル鹽ハ之ヲ沒收

スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東州外ニ產スル滿洲米ノ支那國外ニ輸出取締ニ關ス

員會ニ於テハ取締ノ大體方針ノミ決定シ豫算ハ別ニ考慮スルコト致シ度キ旨ヲ以テ關東廳ヲ說得シタル結果本件取締規則制定方ニ付テハ中央ヨリ改メテ關東廳ニ對シ訓令スルコト及本委員會ニ於テ關東廳側ハ警察官ノ不足ヲ訴へ經費増額方希望シ居タル旨記憶スルコトノ二條件ヲ以テ第一項及第二項共ニ原案通進ムコト

二折合ヒタリ

員會ニ於テハ取締ノ大體方針ノミ決定シ豫算ハ別ニ考慮スルコト致シ度キ旨ヲ以テ關東廳ヲ說得シタル結果本件取締規則制定方ニ付テハ中央ヨリ改メテ關東廳ニ對シ訓令スルコト及本委員會ニ於テ關東廳側ハ警察官ノ不足ヲ訴へ經費増額方希望シ居タル旨記憶スルコトノ二條件ヲ以テ第一項及第二項共ニ原案通進ムコト

二折合ヒタリ

員會ニ於テハ取締ノ大體方針ノミ決定シ豫算ハ別ニ考慮スルコト致シ度キ旨ヲ以テ關東廳ヲ說得シタル結果本件取締規則制定方ニ付テハ中央ヨリ改メテ關東廳ニ對シ訓令スルコト及本委員會ニ於テ關東廳側ハ警察官ノ不足ヲ訴へ經費増額方希望シ居タル旨記憶スルコトノ二條件ヲ以テ第一項及第二項共ニ原案通進ムコト

二折合ヒタリ

支那官憲ノ護照ヲ受ケシテ關東州外ニ產スル滿洲米ヲ支那國外ニ輸出シ又ハ輸出セムトスル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス其ノ反則ニ係ル米ハ之ヲ沒收スルコトヲ得

## 附 則

本令ハ大正十五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

八、本取締實行ト共ニ密輸關係者ノ善導ニ付遺憾ナキヲ期スルコト

（別紙第三号）

## （確定案）

昭和五年十一月

新義州安東間密輸入取締辦法協定草案

一、中華民國稅關分局新義州設置ニ關スル今回ノ要求ハ之ヲ考慮セザルコト

二、中華民國稅關側トノ連絡ヲ密ニシ其ノ誠意アル職務執行ニ付注意ヲ喚起スルコト

三、關東廳令ヲ以テ取締規定ヲ設クルコト

四、右法規ノ公布ト共ニ之ガ取締ヲ勵行スルコト（備考

本件ニ關シテハ實力充實ニ付特ニ考慮セラレタキ旨關

編注一 「拒」の前に「絶対的」との書き込み訂正あり。

編注二 「考」の前に「今回ノ要求ハ」との書き込み訂正あり。

219 昭和5年12月5日 在安東米沢領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

安東中國海關長より我が方警察の取締りに關し抗議について

付 記 九月十三日發幣原外務大臣より在安東森岡

領事宛電報第三四号  
我が方金密輸默認の背景について  
安 東 12月5日前發  
本 省 12月5日後着  
第一〇〇号

鴨綠江橋側支那稅關監視所ニ於テ稅關吏ノ密輸者ニ對スル検査取調ニ基因スル不祥事件ノ鮮カラサルハ御承知ノ通ナル處最近稅關長「ピール」着任以來殊ニ金塊ノ密輸盛ニシテ稅關監吏等ノ検査嚴重ヲ極メ密輸鮮人ハ勿論無辜ノ通行人モ彼等トノ間ニ騒擾ヲ惹起シ死傷事件等續發シ爲ニ警察官憲ニ於テハ事件ノ所在ヲ明カニスル爲關係者ヲ警察官署ニ連行取調ヲナシ必要ノ場合ハ巡緝員等ノ棍棒佩證等モ一應領置セサルヲ得サルコトアリ事態甚タ憂慮スヘキ狀態ニアリタル處本日「ビ」ハ由布副稅務司ヲ帶同シ本官ヲ來訪シ極メテ興奮シタル態度ニテ最近惡化セル右事態ヲ縷々說明シ海關監吏等ニ於テハ適法ナル職務ニ從事シ居ルニ拘ラス日本警察官憲力連行喚問ヲナシ職杖佩證ヲ領置スル等ノ出テツツアル限り職務ノ執行困難ナリトテ本朝突然一齊ニ検査ヲ休止スルト同時ニ將來日本警察官憲ニ於テ右ノ

依テ本官ハ直ニ警察署長ヲ招致シ協議ノ結果此ノ際事件頻発ニ依リ支那側ヲシテ我官憲力暗ニ金密輸者ヲ保護スル力如キ印象ヲ抱カシムルノ好マシカラサルト出來得ヘクンハ此ノ種問題ハ地方的ニ解決スルノ望マシキトニ顧ミ差當リ應急ノ措置トシテ橋側稅關監視所内ニ當分我方警察官一名

ヲ駐在セシメ之ト交換的ニ海關側ヲシテ巡緝員ノ人選ヲ嚴

ニシ検査事務ニ經驗アルモノノミヲ以テスルト共ニ日本人

海關員一名以上ヲ常置シ之等巡緝員ノ行爲ニ對スル責任ヲ

負ハシムル事トシ此ノ旨由布ヲシテ「ピ」ニ傳ヘシメタリ

此ノ間前記検査休止ノ稅關吏員等ハ李海關監督ニ實情ヲ訴

ヘ事態ヲ蔣介石、張學良海關支那人官吏上海組合本部等ニ

打電シ問題化セント敦園キ居リタル趣ナルカ「ピ」ニ於テ

本件ハ目下日本領事ニ於テ考慮中ナレハ輕舉ヲ慎ムヘキ旨

ヲ以テ之ヲ鎮撫シタル事實モアリ夜ニ入り「ピ」ハ由布ヲ

伴ヒ再ヒ本官ヲ來訪シ曩ニ本官ヨリ由布ニ申入レ置キタル

我方提案ハ此ノ際適切且有效ノ措置ニシテ本官ノ誠意ハ之

ヲ多トスル旨謝辭ヲ述フルト共ニ直ニ海關監督ニ申入レ休

止吏員ハ明朝ヨリ執務セシムルコトトスヘシトテ辭去シタ

リ以上右ノ如クニシテ本件ハ一應落着ヲ見タルモ尙前途問

題ノ紛糾スルコトナキヲ保シ難ク旁今回ノ事件モ直ニ「ピ」

ヨリ打電シ中央ノ問題トシテ抗議シ來ルヤモ計ラレサルニ

付右電報ス

支、南京ニ轉電シ、北平、奉天、關東廳ニ暗送セリ

奉天ヘ暗送セラレ度シ

220 昭和5年12月5日 在安東米沢領事より  
別電 常原外務大臣宛（電報）

安東海關中國人外勤員スト繼續について

別電 十二月五日発在安東米沢領事より常原外務

大臣宛第一〇三号

安東海關中國人外勤員の要求について

安 東 12月5日前着

第一〇二号

往電第一〇〇號ニ關シ

本五日早朝「ピール」又復本官ヲ來訪シ昨夜ノ應急措置ニ

關スル申合ヲ「コンファーム」シテ之ヲ文書ニ認ムルト共

ニ右ヲ以テ李海關監督ヲ說キ罷業ヲ終止セシムヘントテ引

取リタルカ一方我方ニ於テハ右ノ申合ニ從ヒ直ニ優秀ナル

警察官一名ヲ選拔シ橋側支那稅關輸出監視處内ニ派遣シタ

リ然ルニ唯今（午後五時）由布ノ語ル處ニ依レハ李ハ「ピー

ル」ヨリ本官トノ打合經過ヲ聞キ大ニ満足シ早速民國人海

### 三 安東密輸問題

（付記）

本省 9月13日発

貴電第八四號ニ關シ

暗第三四號

本件ハ正規ノ輸出手續ヲ經スシテ輸出ヲ企テタルモノナルカ故ニ一般貨物ノ場合ト同様密輸出行爲トシテ海關ニ於テ沒收處分ニ附シ得ヘキモノニシテ更メテ沒收令ノ發布アリタルト否トニ關係ナキ次第ナレハ我方ヨリ右沒收ニ對シ異議ヲ申立ツルノ餘地ナキモノナリ就テハ小國辯護士ニハ右ノ次第申聞ケ尙貴信機密第三五四號後段中既ニ今日迄敢行セル密輸出金塊ノ巨額ナル點ヲモ指摘セラレ本件交渉ハ之ヲ斷念スル様然ルヘク御説示アリ度シ

尙金塊輸出禁止力條約違反ナルニ拘ラス我方ニ於テ政策上之ヲ默認セルハ銀價暴落ニ依ル支那側ノ窮状ニ同情シ抗議等ハ此際之ヲ差控ヘ置クノ趣旨ニシテ本件ニ付支那側ノ自由ヲ公然承認セル次第ニハ非サルニ付本件處理ニ當リテモ此點ハ成ルヘク外部ニ「コムミット」セサル様御留意アリ度シ

上海、北平ヘ轉電セリ

關外勤員一同ニ對シ本件交渉ノ顛末ヲ告ケ至急事務開始方ヲ諭告シタルモ一同ハ之ニ服セス別電第一〇三號ノ如キ行動ヲ續ケツツアルヲ以テ「ピール」ハ由布ノ意見ニ基キ本件主謀者ト目スヘキ古參者一名ニ對シ目下李ヲシテ懲諭セシメツツアルカ右ニテモ尙埒明カサル場合ハ「ピール」トシテハ差當リ施スヘキ策ナキヲ以テ總稅務司ノ指令ヲ仰ク外ナシト考ヘ居レル趣ナリ

上海、南京、奉天、北平、關東長官ヘ轉電セリ

（別電）

安 東 12月5日前着

第一〇三號

往電第一〇二號ニ關シ

果然民國側ハ例ニ依リ事件ノ逆宣傳ヲ試ミ本五日安東海關外勤民國人有志ノ名ヲ以テ大要次ノ如キ宣傳文ヲ支那街電柱ニ貼布スルト共ニ民國新聞ニ掲載セリ

日本ハ不平等（條約）ニ賴ミ侮辱ヲ加ヘントシ我國權ヲ犯シ密輸ヲ庇護スルヲ以テ我海關吏ハ鮮人ノ密輸ヲ取締ラン

トスルモ日警ハ恣ニ我吏員ニ暴行ヲ加ヘ負傷セシメ屢々交

渉スルモノ之ヲ顧ミサルノミナラス甚タ横暴ニシテ更ニ鮮人

ヲ使嗾シ我分局ヲ襲ハシメ海關員ノ生命モ危キ状態ナリ本

月二日ノ如キモ密輸鮮人ヲ取調フルヤ日警ハ是非ヲ問ハス

直ニ我吏員ヲ引致殴打負傷セシメ其ノ蠻行全ク法規ヲ無視

シ我等ハ職務ノ執行不能ニ陥リタルヲ以テ日本附屬地内各分局ハ臨時罷業シテ靜ニ下記五項ノ交渉成行ヲ俟ツモノナリ

(一)該日警ノ免職懲罰  
(二)日警ノ謝罪  
(三)該密輸船ノ懲罰  
(四)日本側今後ノ保障  
(五)日本附屬地内稅關員生命ノ保障

上海、南京、奉天、北平、關東長官へ轉電セリ

221 昭和5年12月6日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)

安東海關員所持棍棒奪取事件に対する外交部

抗議の意図に関する張福運談および宋子文と

本警察ノ協力ヲ得ル様考量ヲ願ヒタキ趣旨ヲ述ヘタルニ付充分ノ  
本官ハ右ニ付テハ未タ外交部ヨリ通知ニ接セサルカ早速取  
調フヘキモ日本政府トシテハ稅關側ノ密輸防止ニ付充分ノ  
協力ヲ爲ス方針ニテ安東ニテモ勿論同様ノ精神ナリ但シ此  
ノ種ノ問題ニ付實際ヲ知ラサル外交部ヲ通シ申入レラルル  
コトハ却テ問題ヲ紛糾スル虞アリト述ヘ尙外交部ヨリノ安  
東關係ノ公文ハ武器ノ強制輸入ノ件ニシテ右武器ハ張學良  
ニ供給セシモノトノ内聞モアリ餘り矢釜シク言ハサルコト  
ヲ希望ス又貴方ハ我駐屯軍ニ供給スルモノニモ制限ヲ加ヘ  
ントスルモノノ如シト言ヒタルニ張處長ハ張學良等支那側

222 昭和5年12月6日 在南京上村領事より  
幣原外務大臣宛(電報)

日本警官の安東海關員所持棍棒奪取事件に対する  
国民政府外交部の抗議につき重光宛報告

外交部ヨリ五日附貴代理公使宛覺書ヲ以テ大要左ノ通申越  
セリ

第九〇七號

本官發在支代理公使宛電報

公第一七一號

本官發在支代理公使宛電報

南京 12月6日後着

本省 12月6日後着

公第一一八〇號

上海 12月6日後発  
本省 12月6日後着

問題の地方的解決方打合について

ルモノニシテ財政部ハ稅關員ノ自衛及稅關財產ノ保護ノ爲

棍棒携帶ノ必要ヲ認メ居ル次第ニ付以上ノ趣旨ニ依リ日本

政府ニ抗議アリタキ」旨申出タリ查スルニ前記朝鮮人ノ暴

動ニ關シテハ十月廿三日附貴翰ヲ以テ犯人ヲ處罰セル旨御

申越アリタル處財政部トシテハ取締ノ徹底ヲ期スル爲武装

巡緝隊ヲ設ケタル次第ナルヲ以テ之ヲ職務外ノ行動ト認ム

ルヲ得ス此ノ點ニ關シテハ七月廿一日附覽書ヲ以テ申進置

キタル通ナルカ今回ノ日本警察官ノ行爲ハ稅關ノ取締ニ支

障アルノミナラス昨年十一月十九日附堀代理公使御申越ノ

趣旨ニ反スル次第ニ付貴代理公使ヨリ安東領事ニ對シ今後

再ヒ前述ノ如キ干涉ヲ爲サス以テ安東稅關行政ノ徹底的整

理ニ便セラレムコトヲ希望ス云々

委細郵報

公使ヨリ上海へ轉電アリタシ  
大臣、北平、奉天、安東へ轉電セリ

公使ヨリ上海へ轉電アリタシ  
大臣、北平、奉天、安東へ轉電セリ

公使ヨリ上海へ轉電アリタシ  
大臣、北平、奉天、安東へ轉電セリ

223 昭和5年12月9日 常原外務大臣より  
在安東米沢領事宛（電報）

安東密輸取締りに關し中國側に協調の精神で

224 昭和5年12月9日 常原外務大臣より  
在上海重光臨時代理公使宛（電報）

別電 十二月九日發常原外務大臣より在上海重光

貴地密輸入取締ニ関スル我方方針決定ノ次第ハ本大臣發上  
海宛往電公第四四九号及公第四五〇号ノ通りニ付貴官ハ右  
方針ニ依リ此上共朝鮮及關東廳並民國側ト緊密ナル連絡ヲ  
保チ所期ノ効果ヲ舉クル様御盡力アリ度尚右方針（一）ニ付テ  
ハ重光代理公使ヨリ民國側へ申入ノ筈ナルモ貴官ニ於テモ  
不取敢稅關側ニ對シ右方針ノ趣旨ヲ篤ト御説明ノ上此際稅  
關側ニ於テモ我方誠意ヲ下級官吏ニ徹底セシメ飽ク迄モ協  
調ノ精神ヲ以テ臨ム様訓諭方併セテ注意ヲ喚起シ置カレ度  
尚本件ニ付テハ拓務省ヨリ朝鮮側及關東廳側ニ對シ同趣旨  
訓令済為念

公使、南京、北平、奉天ニ轉電セリ

公使、南京、北平、奉天ニ轉電セリ

公使、南京、北平、奉天ニ轉電セリ

臨時代理公使宛第四四五〇号  
右我が方方針  
本省 12月9日後11時27分発  
公第四四九號

客年安東宛往電第四三号及第四五号ニ關シ今回關係當局協  
議ノ結果別電公第四五〇号ノ方針ニ依リ今後取締ヲ勵行ス  
ルコトニ決定シタリ

就テハ貴官ハ右方針ノ趣旨ニ基キ（一）四月二日附外交部公文  
ニ對シ民國側ノ引用ニ係ル交換公文第三項ハ鮮滿國境通過

鐵道貨物關稅輕減取極ニ關連シ交換セラレタルモノニシテ  
専ラ關稅輕減ニ付援用スルハ適當ナラサルノミナラス實際

シ從テ右關稅輕減撤廢ノ今日之ニ關係ナキ安東ニ於ケル一  
タル通誠意ヲ以テ民國側取締ヲ援助シテハアル次第ニテ此

上新義州ニ民國側稅關ヲ設置スルノ必要ナキニ付右民國側  
ノ希望ニ應シ得サル旨簡單ニ應酬シ置カルハト共ニ（二）我方  
ニ於テハ自發的措置トシテ今後一層嚴重ニ取締ル方針ニテ

其旨出先官憲ニモ訓令シ置キタルニ付此際民國側ニ於テモ  
ニ於テモ我方ニ於テハ客年十一月堀代理公使ヨリ申入置キ  
タル通誠意ヲ以テ民國側取締ヲ援助シテハアル次第ニテ此  
上新義州ニ民國側稅關ヲ設置スルノ必要ナキニ付右民國側  
ノ希望ニ應シ得サル旨簡單ニ應酬シ置カルハト共ニ（二）我方  
ニ於テハ自發的措置トシテ今後一層嚴重ニ取締ル方針ニテ

其旨出先官憲ニモ訓令シ置キタルニ付此際民國側ニ於テモ  
ニ於テモ我方ニ於テハ客年十一月堀代理公使ヨリ申入置キ  
タル通誠意ヲ以テ民國側取締ヲ援助シテハアル次第ニテ此  
上新義州ニ民國側稅關ヲ設置スルノ必要ナキニ付右民國側  
ノ希望ニ應シ得サル旨簡單ニ應酬シ置カルハト共ニ（二）我方  
ニ於テハ自發的措置トシテ今後一層嚴重ニ取締ル方針ニテ

臨むよう申し入れ方訓令

本省 12月9日後10時25分發

第四〇號

我方ト良ク連絡協調ヲ保チ取締勵行方出先ニ訓令アリ度旨  
申入レラレ度尚南京發本大臣宛電報第二六号ノ趣旨ヲモ御參酌  
ニ對シテハ本大臣發安東宛電報第九〇七号民國側覺書  
ノ上累次ノ安東來電ノ趣旨ニ依リ我方措置振ヲ適宜説明セ  
ラルハト共ニ稅關吏ノ策動鎮撫方併セテ申入レラレ度  
本電別電ト共ニ北平、奉天、安東ニ轉電セリ南京ニ轉電ア  
リ度

（別電）

本省 12月9日後11時41分発  
公第四五〇號

一、中華民國稅關新義州分館設置ニ關スル民國側今回ノ要  
求ハ之ヲ考慮セサルコト

二、中華民國稅關側トノ連絡ヲ密ニシ其ノ誠意アル職務執  
行ニ付注意ヲ喚起スルコト

三、關東廳令ヲ以テ取締規定ヲ設ケ取締ヲ勵行スルコト

四、朝鮮側稅關及警務當局ニ於テモ關東廳側ト一層緊密ナ  
ル連絡ヲ圖リ密輸入ノ取締ニ協力スルコト

五、朝鮮ヘノ密輸入ニ付テハ關東廳ニ於テ朝鮮側ト緊密ナ  
ルモニシテ財政部ハ稅關員ノ自衛及稅關財產ノ保護ノ爲  
棍棒携帶ノ必要ヲ認メ居ル次第ニ付以上ノ趣旨ニ依リ日本  
政府ニ抗議アリタキ」旨申出タリ查スルニ前記朝鮮人ノ暴  
動ニ關シテハ十月廿三日附貴翰ヲ以テ犯人ヲ處罰セル旨御

ル連絡ヲ保チ其ノ取締ニ協力スルコト

六、以上ノ取締実行ニ關シ安東新義州ニ於ケル帝國官憲時々  
會合打合ヲ為シ適切ナル方法ノ取極ヲ為スコト

七、本取締実行ト共ニ密輸關係者ノ善導ニ付遺憾ナキヲ期  
スルコト

225 昭和5年12月10日 在安東米沢領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

#### 安東海關中國人外勤員スト解除について

安 東 12月10日後発  
本 省 12月10日後着

第一〇九號

往電第一〇六號ニ關シ

罷業中ノ海關中國人外勤員ハ本日午後一時ヨリ漸次復業シ  
ツツアル所右ハ就業ヲ肯ンセサル者ハ罷免スヘキ旨稅關長  
ヨリ嚴達ノ結果ナル趣ナリ

上海へ轉報アリタシ

在支公使、南京、北平、奉天へ轉電セリ

226 昭和5年12月10日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

安東密輸問題につき日中双方の友好的協力の  
上解決したき旨の張閏務処長談について

南 京 12月10日後発  
本 省 12月11日前着

公第一二〇四號

(1)十日張關務署長本官ヲ來訪シ先ツ安東密輸入防止關係事件  
ニ付テ安東ノ由布副稅務司ト米澤領事トノ往復文書ヲ示シ  
此ノ問題ニ付テ自分ハ中國側力全部正當ニシテ日本側力全  
部不正當ナリト述フル次第ニハ毫モアラサルモ折角日本側  
ト財政部側トハ極メテ友誼的ニ總テノ問題ヲ處置シ居ル此  
ノ際斯ル問題ニ付日華兩國民ノ神經ヲ刺戟スルハ甚タ遺憾  
トル所ナリ過去ノ出來事ハ過去ノコトトシテ處理スルコ  
トトシ將來一層ノ友誼的協力ヲ双方ヨリスル様ニ致度ク特  
ニ日本警察側ニ於テ密輸入ヲハ中國側ト協力ノ上一層嚴重  
ニ取締リ貰ヒ度キ次第ナリ自分ハ附屬地ノ警察權問題等ヲ  
持出ス意嚮全然ナク唯事務的考慮ヲ望ムモノナリト述ヘタ  
レハ本官ハ財政部側ノ精神ハ充分了解セリ日本側ハ中央政

227 昭和5年12月10日 在安東米沢領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

棍棒奪取事件に關して安東稅關側の宥和的態

度提示について  
安 東 12月10日後発  
本 省 12月11日前着

第一一〇號

當地海關中國人外勤員罷業勃發以來本官力海關側ニ對シ特  
ニ協力ノ誠意ヲ示シ早速實效アル應急辦法ヲ講スル等復業  
ノ爲最善ノ努力ヲ盡シ來リタル次第ハ往電第一〇〇號ノ通  
ナルヲ以テ其ノ後ノ成行ニ付テハ當方ニ於テ專ラ之ヲ注視  
スルニ止メ居タリシ處稅關長ヨリ本十日罷業者等ハ往電第  
一〇九號ノ通愈々本日ヨリ復業シ始メタル旨通知シ越スト  
共ニ(一)棍棒問題ハ其ノ解決中國政府ニアリテ稅關長ニ屬ス  
ルモノニアラサル旨本官ニ通報スヘシトノ總稅務司ヨリノ  
訓電ニ接シタルコト及棍棒ハ巡緝員ニ於テ身邊ノ危險防禦  
以外ニハ用フヘカラサル嚴格ナル禁止命令ノ下ニアルコト  
並ニ(二)公衆ニ向ツテハ親切丁寧ナル態度ヲ以テ望ムヘキ旨  
嚴達シタルコト等申出來レリ

府ハ勿論本官ニセヨ地方官憲ニセヨ密輸取締勵行ノ精神ハ  
毫モ異ナラサル趣旨ヲ說明シタル上  
八日「ウォルシヤム」トノ話ニ言及シ右ニ付テハ本官ヨリ  
於テ充分諒解シ居ル次第ナレハ日本側ノ關スル限り我々ハ  
全力ヲ盡スヘキ旨述ヘタルニ張ハ中國側ニ於テモ「マーズ」  
ヨリ稅務司ニ同シ精神ノ電信ヲ發シ居リ（右ハ既ニ電報ヲ  
以テ報告済）此ノ上トモ日本側ノ立場ヲ充分説明シ稅務司  
側ニテ遺漏ナキ様取計フヘシ尙過去ノ出來事ニ付テモ何レ  
カ非ナルヤ自分トシテハ敢テ言ハサルモ過去ノ爭ノ爲海關  
ノ「クライク」中「ナイフ」テ刺サレ入院中ノ者アルカ之  
ニ對シ何等カノ方面ヨリ名義丈ニテモ見舞金ヲ遣リテ貰ヒ  
得レハ空氣ヲ鎮靜セシムルニ適當ナルヘシ右ハ唯日華ノ關  
係ヲ思フ點ヨリ單ニ思付ヲ言フノミニシテ別ニ意味アル次  
第ニハアラスト述ヘタレハ本官ハ右ノ點ハ何レ適當ノ處置  
ヲ安東ニ於テ考フルヨリ外ニ途ナク本官ヨリ意見ヲ申述ヘ  
兼ヌルモ何レニスルモ貴下等ノ友誼的精神ハ常ニ良ク認識  
シ居ル所ナリト答ヘ置キタリ  
安東、北平、奉天へ轉電シ上海、東京へ暗送セリ

惟フニ右(一)ハ從來先方ニ於テ附屬地内ニ武裝巡緝隊設置ノ権利アリト强硬ニ主張スルト共ニ事毎ニ問題發生ノ責ヲ我警察官ノ棍棒領置ニ歸セシメ來レル事實ニ鑑ミルトキハ相當ニ其ノ態度ヲ緩和シタルモノト謂フヘク又(二)ハ我方ニ於テ紛擾事件力屢々巡緝員等ノ横暴不遜ナル態度ニ激發サルル事實ヲ指摘シタルニ對シ先方ニ於テモ遂ニ之ヲ自覺スルニ至リタル結果ト認メラル

公使ヨリ上海へ轉報ヲ請フ

支、南京、奉天、北平、關東廳へ轉電セリ

228 昭和5年12月11日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

國民政府財政部關係の問題は外交部を通さず

重光・宋間で實際的解決を図りたい旨の中國

側意向について

南京 12月11日前着  
本省

公第一二〇六號

10日張福運來訪ノ際上村領事發本官宛公第一七一號外交部

電公第四五〇號ニ以下ノ趣旨ヲ適宜説明シテ政府ニ於テモ密輸防止ノ爲一層具體的有效ナル措置ヲ執ルニ決シタル旨ヲ述ヘタル處張ハ深ク之ヲ謝シタル上自分ハ「メーズ」ニ對シ日本側協力ノ方針及其ノ誠意アル協力ノ事實ヲ述ヘ民國側ニ於テモ同様ノ精神ヲ以テ密接ナル協調ヲ保ツヘキ旨ヲ稅務司ニ訓令（委曲ヲ盡ス爲書面ニテ）セラレタル旨手紙ヲ出シ置キタルカI、G側ヨリハ既ニ巡緝員ノ復業ヲ嚴令シタル趣ナレハ本件ハ間モナク片付クヘシト述ヘタリ

(2) 堀内ヨリ往電公第一二〇六號外交部公文ノ解決方ニ關シ  
今回ノ事件ノ發端タル巡緝員ノ職杖携帶問題並之ト武裝巡緝隊設置問題トニ關聯シテ安東領事ノ措置振等ニ付安東發本官宛電報公第二四號ノ次第ヲ説明シタル後領事ハ一面法律的立場ヨリ職杖携帶差シ控ヘ方ヲ要求シタルモ他面實際的見地ヨリ巡緝員側ノ立場ニモ同情シ右要求ヲ強請セス今日ニ至リタルモノナルヘク單ニ自分獨リノ考ヘナルカ右ノ措置ハ將來職杖携帶ニ關聯シテ巡緝員ト警察トノ間ニ事件起ラサル限り我方トシテハ之ヲ默認スルコト適當ナルヘク又貴方トシテモ同様ナルヘシト思ハル

公文ニ關シ過日財政部關係ノ事ハナルヘク外交部ヲ經ス貴公使ト宋部長トノ間ニ實際的解決ヲ計ルヘキ旨貴下ト宋部長トノ間ニオ話シアリ右趣旨ノ命令ハ自分モ部長ヨリ聞キ及ヒ居ルヲ以テ右外交部公文モ我々ノ間ニ於テ話合ヒヲ爲シ適當ノ解決ヲ計ルコトトスヘク委細ハ明日着ノ堀内書記官ト御相談スルコトト致度シト語レリ

北平、安東、奉天ニ轉電シ南京、上海ニ暗送セリ

229 昭和5年12月11日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

安東密輸防止策につき堀内・張協議内容につき報告

南京 12月11日後発  
本省 12月12日前着

公第一二〇九號

十一日堀内張福運話合ヒ左ノ通

(1) 堀内ヨリ密輸防止ノ爲從來我方ノ執リタル措置ヲ詳述シ（今回ノ事件ノ經過ハ書面ニテ詳報シ置ケリ）タル上貴往電公第一二〇五號ニ關シ

然ルニ外交部公文ニハ「民國側ニ於テハ武裝巡緝隊ヲ設置シタレハ職杖携帶ハ當然ノ權利ナルヲ以テ領事ノ干渉ヲ差シ止メラレ度シ」トノ申入ヲナシ居ル以上我方トシテハ之ニ回答スル場合民國側ニ此ノ權利ナシト云ハサルヲ得サル處斯クノ如キハ双方ニ取りテ面白カラサルニ付右公文ニ對シテハ我方密輸防止ノ方針及右ニ基キ領事及稅關側ニ於テ充分協調ヲ保チ居ルコト並本件ハ右兩者ノ話シ合ヒニ依リ既ニ完全ナル諒解ニ達シタル所ナレハ右ニ御承知アリ度シトノ趣旨ニテ回答スルコト然ルヘシト思ハルル處貴見如何ト尋ネタルニ張ハ(イ)武裝巡緝隊設置ニ關スル「ベツセル」ノ提案ハ實ハ何等當方ノ訓令ニ基キタル次ニアラスシテ「ベツセル」ハ之力爲叱責ヲ受ケタリ自分ハ附屬地ノ警察權問題ニ觸レル考ハ毛頭ナキモ唯巡緝員力職杖ヲ携帶スルハ自衛上必要ナリ既ニ上海ニ於テモ巡緝員ハ「ピストル」ヲ持チ居リ租界當局ヨリ抗議ヲ受ケタルコトナシ(ロ)外交部公文ニ對スル回答ニ付テハ至極結構ナリト答ヘタリ

(3) 次テ堀内ヨリ職杖携帶ニ關聯シテ將來今回ノ如キ事件ノ再發ヲ防止スル方法ニ付自分ノ考ニテハ(イ)民國側ニ於テ

職杖ハ専ラ自衛的ノモノニシテ之ヲ濫用スヘカラサルコ

ト及容疑者検査ノ細目ヲ中日雙方ニテ協定シテ巡緝員ニ

徹底セシムルコト(口)我方ニ於テモ右ノ趣旨ヲ充分警察官

ニ徹底セシムルコト並ニ(ハ)巡緝員ニハ素質ノ良キ者ヲ採

用シ其ノ部長又ハ組長ニハ現ニ天津大連上海等ニ勤務セ

ル日本人ノout doorヲ兼任充當スルコト等ナルカ右ニ

對スル貴見如何ト尋ネタルニ張ハ(イ)(口)ニ付テハ異存ナク

(ハ)モ趣旨ハ贊成ナレハ之カ實行性ニ付「メーツ」ト相談

シタル上何分ノ意見ヲ述フヘシト答ヘタリ

(四)尙堀内ヨリ前記(二)及(三)ノ意見ハ全然個人ノ思付ニテ未タ

代理公使ニモ話シ居ラサルカ貴官ニ於テ贊成ナラハ公使

ニ建言スル積リナリト述ヘ張ハ負傷セル「クラーク」ニ

付往電公第一二〇四號後段ノ趣旨ヲ述ヘ居タリ

安東ニ轉電シ、上海、南京ニ轉電セリ

230 昭和5年12月12日 在安東米沢領事より

幣原外務大臣宛(電報)

我が方安東密輸取締り規則制定に關する安東

稅務司の謝意表明並びに日本側警官増員要請

について

安 東 12月12日前発

本 省 12月12日前着

貴電第四〇號ニ關シ

本十一日午後一時本官「ピール」稅務司ヲ往訪閣下發公使

宛電報公第四五〇號各項ノ趣旨ヲ敷衍説明シタルニ「ピ」

ハ我方ノ誠意アル積極的協力ノ方針ヲ多トシ特ニ取締規則

ノ制定ハ最實效アルヘキモノトシテ滿腹ノ謝意ヲ表シタル

カ唯江岸一帶ニ互リ現下ノ警察力ヲ以テシテ果シテ萬全ヲ

期シ得ルヤ否ヤ疑ヲ存スル次第ナリト附言シタルヲ以テ本

官ハ人員增加ニ依リ一層實ヲ舉クルコトハ誠ニ望マシキ所

ナルモ經費ノ關係モアリ其ノ實現差當リ困難ナルヤニ認メ

ラルルモ兎ニ角現員ヲ以テ前述方針ニ依リ出來得ル限り取

締ノ實ヲ舉クヘシト應酬シタル上右ノ如ク我方ニ於テ密輸

シテ取締ノ徹底ヲ期セラレタク(一)附屬地外中國人密輸ハ稅

關側ニ於テ嚴ニ之力取締ヲナスヘク(二)共租區派出所ノ檢查

官吏ハ人選ヲ嚴ニシ公衆ニ對シ親切丁寧ナル態度ヲ以テ臨

取締ニ付最善ノ努力ヲナス以上稅關側ニ於テモ之ト相提携

シテ取締ノ徹底ヲ期セラレタク(一)附屬地外中國人密輸ハ稅

關側ニ於テ嚴ニ之力取締ヲナスヘク(二)共租區派出所ノ檢查

官吏ハ人選ヲ嚴ニシ公衆ニ對シ親切丁寧ナル態度ヲ以テ臨

231 昭和5年12月13日 在安東米沢領事より

幣原外務大臣宛(電報)

日本警官の中国人連行喚問問題に対する処置

には慎重を要すとの代理公使宛意見具申

安 東 12月13日後発  
本 省 12月13日後着

第一一二號

本官發在支公使宛電報

公第三〇號ノ一

貴代理公使發外務大臣宛電報公第一二〇九號ニ關シ

堀内張間ノ談合(三)(イ)後段ノ細目協定ハ將來ニ處スル上ニ

最モ緊要ナル事項ナルヲ以テ本官ニ於テモ夙ニ此ノ點ニ留

意シ今次ノ罷業ニ當リテモ問題ノ重點ハ專ラ我方官ノ進行

喚問ノ當不當ニアリタル次第ナルカ本官ニ於テハ右當否ノ

問題ニ議論ヲ集中スルコトハ何等目前ノ罷業解決ニ資スル

處ナク從テ之カ解決ハ右ノ議論ヲ實際上不必要ナラシムル

方策ニ依ルノ外ナシトノ見地ヨリ大臣宛電報第一〇〇號ノ

如キ應急辦法ヲ案出シタル次第ニシテ即チ橋側稅關派出所所

内ニ我警官一名ヲ常置スルコトニ依リ事端發生ノ際現場ニ

於テ之ヲ目撃スルコトヲ得セシメ之ニ依リ連行喚問ノ必要ハ自ラ多ク消滅シ其ノ當否問題ヲ事實上不要ニ歸セシムルノ趣旨（一面鮮人密輸者ニ對スル威嚇的效果ヲ期待セルコト勿論ナリ）ニ出テタルモノナリ

本官發代理公使宛公第三〇號ノ二

右ノ趣旨ハ當時「ピール」ニ於テ大ニ之ヲ多トシ實際的解決案トシテ最大ノ満足ヲ表シタル次第ナルカ十一日ノ會見ニ於テ（大臣宛電報第一一一号）密輸取締ノ方法ニ關聯シ「ピール」ハ又復我警察官ノ行動ヲ問題トシ十二月二日ノ事件ニ於テ我警察官力一巡緝員ヲ密輸鮮人取押ノ現場ニ於テ多數橋上通行者及關係鮮人ノ前ニテ暴力的取調ヲナシタルハ警察官ノ職權ヲ越ヘタル不法ノ行爲ニシテ若シ取調ノ必要アラハ本署ニ連行シテ之ヲناسへク公衆ノ面前ニ於テ斯ノ如キ public humiliation ヲナスハ許シ難シト聲ヲ勵マシテ論難シ右カ海關員ノ激昂ヲ買ヒ罷業ヲ勃發セシムルニ至リタルモノナリト述ヘタリ依テ本官ハ該事實ハ海關員ノ誇張的報告ニ基クノ疑ナキニアサルモ假ニ我警察官力現場ニ於テ暴力ヲ使用シタリトセハ其ノ不當ナルコト勿論ナルカ然ラハ取調ノ必要アル場合連行スルハ「ピール」ニ

機密第五〇二號

昭和五年十二月十五日

（12月18日接受）

在安東

領事 米澤 菊二〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

市政籌備處ノ密輸取締方ニ關スル指令申請ノ件

警察諜報ニ據レハ今回ノ海關民國人外勤員罷業事件ニ關シ安東市政籌備處ニ於テハ本月十日附ヲ以テ密輸取締方ニ關シ左記ノ通遼寧政府宛申請シタル趣ニ付御参考追報告ス

記

茲ニ安東商埠公安局ノ報告ニ依レハ密偵ノ報告ニ安東ノ地タル鴨綠江ヲ隔テ朝鮮ニ相對セルガ日鮮不逞ノ徒密輸ヲ企図スルヲ以テ我官憲ハ要所ヲ警防スルト雖モ其隙ニ乘シ

テ之ヲ敢行シ且日警之ヲ放任スルカタメ隨意野蛮行為ニ出デ過日ハ華員殴辱ヲ蒙リ今日ニ至ル迄其解決ヲ見ズ又時恰モ結氷ニ際セルヲ以テ此等ノ徒輩ハ一層跋扈スヘク若シ嚴モ取締ヲナサベルニ於テハ過般華員ノ殴辱セラレシ如キ事

件ノ再發スルヲ免レ難ク職務上ノ責任ハ言外トシ省財政ニ關スル重大問題ナルヲ以テ此ニ特報ス何分ノ御詮議有之度

於テ之ヲ容認セラルル次第ナリヤト反問シタルニ「ピール」ハ連行ノ當否問題ニ付テハ自分トシテハ何等觸ルコトヲ得ストテ絕對ニ之ヲ避ケ從來主張シ來レルトハ全ク異リタル態度ニ出テタリ

右ハ「ピール」ニ於テ本件連行喚問ノ問題力下中央ニ於テ交渉中ニ屬スル關係上意見ヲ述フルヲ急ニ差控ヘタル結果ト思考セラル處本問題ハ累次ノ拙電ニ依リ御推察ノ通本件ノ核心ヲナスモノナルニ鑑ミ貴方ニ於テ財政部トノ間ニ充分御接洽ノ上圓滿ナル諒解ニ達セラルコトトナラハ誠ニ好都合ト思考ス

上海ヘ轉報アリタシ

大臣、南京、奉天、北平、關東廳ニ轉電セリ

編注 「官」の前に「警察」との書き込み訂正あり。

232 昭和5年12月15日 在安東米沢領事より

幣原外務大臣宛

密輸取締り方に關し安東市政籌備處による遼寧省政府宛申請について

シ云々ト依テ局長ニ於テ調査スルニ日鮮人ハ其庇護ヲ恃ミ任意蛮横ヲ肆ニスルハ實ニ我國ノ關稅自主ニ違反セリ嚴重取締ヲナサベルニ於テハ誠ニ稅權ヲ維持スル能ハス相當茲ニ報告スルニ付将来斯ル事件ノ發生セサル様交渉方申請有之度シ云々ヲ受理セリ查スルニ日本側ノ橫暴ハ實ニ我國ニ莫大ノ損失ヲ與ヘ國權ニ對シテモ亦無限ノ壓迫ヲ蒙ル者ニシテ若シ交渉ヲ提出シテ充分ナル解決ヲナスニ非ラスソハ稅權ヲ維持スルコト能ハス茲ニ報告スルニ付何卒交渉方轉令有之且ツ何分ノ御指示相成度此段申請ス

遼寧省政府 御中

本信寫送付先  
公使、南京、上海、北平、奉天  
（12月22日接受）

233 昭和5年12月16日 在奉天林總領事より  
安東密輸問題に關して国民政府の後援を求める遼寧省外交協會請願

昭和五年十二月十六日  
（12月22日接受）

在奉天

總領事 林 久治郎 「印」

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

安東海關問題ニ關シ遼寧外交協會ノ南京政府ニ請願

ノ件

本件ニ關シ當館警察ノ牒報ニ依レハ最近當地國民外交協會ハ安東海關支那人側ヨリ海關問題後援方ノ依頼電ニ接シ本件ノ件

月十日附ヲ以テ國民政府外交部ニ對シ左記譯文ノ如キ請願

電報ヲ發シタル由何等御参考迄報告ス

記

南京國民政府外交部鈞鑒

最近安東海關中國外勤關員ノ宣言ニ接シタルカ惟フニ文明國家ノ官吏タル日本警察官力日鮮人民ノ脫稅ヲ庇護スルハ既ニ不當ナル處亦復我力海關員ヲ凌辱シ海關事務所ヲ破壊シタルカ如キ兇暴野蠻ノ行爲ハ實ニ許シ難シ若シ嚴重交渉セサレハ啻ニ國庫ヲ危フクスルノミナラス且國家ノ体面ヲ汚スヘシ希クハ貴部ヨリ即時日本側ニ抗議ヲ提起シ事件ヲ發生セシメタル日本警察官及脫稅ヲ謀リタル鮮人ヲ處罰シ且日本警察ヲシテ我力方海關員ニ謝罪セシムルト共ニ今後

本官發在支代理公使宛電報公第一七五號ノ一  
王外交部長ヨリ貴代理公使宛十八日附公文ヲ以テ大要左ノ通申越セリ

本月十日東北政務委員會ヨリ「確報ニ依レハ十月廿八日午後三時半三名ノ日本人自轉車ニテ稅關橋上派出所ヲ通過セントシタルニ付稅關吏力檢查セントシタルニ該日本人等ハ

員ヲ毆打シタルヲ以テ稅關吏ハ第十二號巡緝隊員ト共ニ該鮮人ヲ追跡セル處前記日本人中ノ一名野澤ナルモノハ突然短刀ヲ以テ第十二號巡緝隊員ノ右肘ニ切り付ケタル後該短刀ヲ該鮮人ニ渡シ共ニ逃走セリ當時橋上ノ日本警察官ハ傍観ノ態度ヲ執リ居タルカ稅關吏及第十一號巡緝隊員カ前記二名ノ兇徒ヲ追跡取押ヘルヤ日本警察官ハ始メテ活動ヲ開始シ右取押ヘタル鮮人ヲ引取り釋放シ野澤ハ橋下ノ貨物検査場ノ日本警察官ニ引渡セリ然ルニ第十二號巡緝隊員ハ甚タ重傷ニシテ成田醫師ノ診斷ニ依レハ生命ニ關スル虞アリ依テ稅務司ヨリ同地日本領事ニ抗議セル處論議ヲ重ネテ之ヲ庇ハントスルノミナラス巡緝隊員ノ武裝解除ヲ要求セル旨電報アリタリ

本官發在支代理公使宛電報公第一七五號ノ二

查スルニ該暴徒等ハ職務執行中ノ稅關吏ニ對シ大膽ニモ兇器ヲ以テ重傷ヲ負ハシメ一方日本警察官ハ客年十一月十九日附堀代理公使來輸ニアル密輸共同取締方ニ關スル貴國政

府ノ訓令並貴代理公使ノ取締共助ニ關スル十月十三日ノ聲明ニ從ヒ逮捕ヲ共助セサルノミナラス却テ取押ヘタル鮮人

再ヒ斯種事件ヲ發生セシメサルコトヲ保證セシメ以テ我主權ヲ維持セラレ度何分ノ儀至急御回示相仰度シ

本信寫送付先、中華民國代理公使、北平首席、上海、南京

遼寧國民外交協會十日

京、安東

234 昭和5年12月19日 在南京上村領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

安東海關員と朝鮮人との衝突事件に関する国

民政府外交部公文大要につき報告

南京 12月19日後発  
本省 12月20日前着

第九三三號

編注一 「員」の前に「隊」の書き込み訂正あり。

編注二 「巡」の前に「號」の書き込み訂正あり。

上海へ轉報アリタシ  
大臣、北平、奉天、安東へ轉電セリ

編注三 「處」の前に「相当」の書き込み訂正あり。

235 昭和5年12月20日 中谷(関東)警務局長より  
生駒(高常)拓務省管理局長宛

安東密輸取締り規則案につき照会

關機高發第三一三五九號

昭和五年十二月二十日

關東廳警務局長

拓務省管理局長殿

密輸取締規則制定ニ關スル件

管下安東ニ於ケル密輸取締ニ關シ別紙草按ニ依リ取締規則制定ノ手續中ニ有之候條右案ニ就キ外務省トモ御打合ノ上御意見至急承ハリ度及御照會候

追而本件急ヲ要シ候ニ付飛行使ヲ以テ發送致候モ途中事故發生ヲ顧慮シ更ニ一通普通便ニ依發送致候爲念

前議

南滿洲鐵道附屬地内密輸出入ノ貨物取締ニ關スル件  
中華民國ニ於テハ昨年二月ヨリ輸入貨物ニ對シ新稅率ヲ實施スルニ至リタル結果安東、瓦房店等ヨリ中國内地ヘ各種

貨物ノ密輸入ヲ圖ル者増加シ剩へ安東ニ於テハ數十名ノ團體ヲ以テ一時ニ多量ノ貨物ヲ公然實力ヲ以テ密輸入スルニ至リタル爲中國海關吏ノミヲ以テシテハ到底取締ノ徹底ヲ期スルコト能ハサルニ至リ遂ニハ水上公安局ノ援助ヲ求ムルノ止ムナキ狀況トナリ、サナキタニ海關吏ト密輸入團ト屢々衝突アリ延テハ我附屬地内ニ於テ支那官憲ノ行政權行使ノ主張トナリ益々問題ノ紛糾ヲ招クノ虞アル處ヨリ安東警察署ニ於テハ之等密輸入者ノ取締ヲ勵行スルコトナシタルモ何等據ルヘキ法規ナキ爲之力取締ノ徹底ヲ期スル能ハス結果奉天其他支那側ニ於テハ海關發給ノ放行單ナキ外貨ハ密輸入品ト看做シテ之ヲ抑留シ又ハ強制徵稅ヲ爲ス等極度ニ邦商ヲ壓迫シ邦商トノ取引ヲ不圓滑ナラシムルト共ニ一方安東密輸入防止ニ關シ支那側ニ實權行使ノ口實ヲ與ヘ種々我方ニ抗議ヲ爲シ來ルニ至リタル爲我外務省ニ於テハ頗ル事態ヲ重大視シ如斯不正行爲ハ日支國交ヲ阻害シ對貿易ノ基調ヲ紊ルモノトナシ斷然之カ取締ヲ行フコトニ決シ同年十月以來外務省、當廳、領事館、朝鮮側等ノ間ニ屢々協議ヲ重ね遂ニ十一月二十一日ヨリ各關係機關ニ於テ連絡協調ノ上積極的ニ不正者ノ取締ヲ勵行スルコトトナリ

タルモ密輸入者ハ益々巧妙ナル手段方法ヲ以テ大量ノ密輸入ヲ圖リ時々徒黨ヲ組ミテ稅吏ニ反抗シ或ハ海關派出所ヲ襲撃スル等屢々稅吏ト衝突シ果テハ相方數名ノ死傷者サヘ出スニ至リ事態益々惡化シ日支國交上甚々憂慮スヘキ形勢トナリタル爲本年十一月拓務大臣官邸ニ於テ拓務省、外務省、朝鮮總督府、關東廳各關係者相會シ今後ノ取締方針ニ付キ協議シタル結果ニ基キ今同廳令制定方ニ關シ拓務次官ヨリ通牒有之候ト共ニ最近安東附屬地ヨリ朝鮮側ニ密輸出ヲ爲ス者增加シ屢々海關吏ト葛藤ヲ生シタル事例ニ徵シ別紙<sup>(略)</sup>鹽密輸入取締法規及滿洲米輸出取締ニ關スル規定等ヲ斟酌シ別案ノ通規則制定相成可然哉

右仰御高裁

(別案)

關東廳令第 號

南滿洲鐵道附屬地内密輸出入貨物取締ニ關スル件左ノ通定

ム

昭和年月日

長官名

第五七一號

米澤領事ヨリ

236 昭和5年12月(23)日

太田(關東)長官より  
幣原外務大臣宛(電報)

安東密輸取締り規則の內容につき拓務省と確認の上同省より關東廳に対して指導ありたき旨の安東領事より要請

關東廳

発

本官廿一日ヨリ關東廳へ出張目下密輸取締ノ立法審議ニ參加中ナルカ最近安東ニ於ケル紛争事件發生力總テ密輸出ニ原因シタルノ實情ニ鑑ミ本件廳令ハ當然密輸出取締ト諒解シ居ル處關東廳内ニ於テハ過般貴地ニ於ケル關係首腦部ノ本件協議ニ當リ密輸出ノ取締力格別問題トナラサリシ關係上之ヲ廳令中ニ包含セシムルコトニ付テハ關東廳トシテハ更メテ拓務省ヨリ其ノ意味ノ指示ヲ受クルヲ要スト主張スル向アリ就テハ此ノ點ヲ明確ニスルカ爲至急拓務省ト御打合セノ上同省ヨリ電報ニテ右指示方御取計相煩度シ

237 昭和5年12月24日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

國民政府外交部公文に対する我が方回答振り

に關於する堀内と張との会談要領報告

上海 12月24日後発  
本省 12月24日後着

公第一二六八號

往電公第一三〇九號ニ關シ

廿三日堀内張福運ト會談ノ要領左ノ通

一、堀内ヨリ外交部公文ニ對スル回答振りニ付右往電〔〕前回ノ話合ヲ確メタル上細目協定方ニ付日本人轉任方ニ関スル「メ」ノ意図ヲ尋ネタルニ張ハ「メ」ニ於テハ主義上贊成シタルモ差當リ轉任セシムル外途ナク其ノ場合大連ノ補充ノ事モ考フル必要アリ時機ヲ待タレタシトノコトナリト答ヘ堀内ヨリ成ルヘク速ニ實現方ヲ希望シ尙之ニ關聯シ安東發本官宛電報公第三〇號ノ次第ヲ適宜説明シ殊ニ適法ナル連行訊問ノ必要ナル事情ヲ述ヘ安東ニ於テハ之ニ關聯スル紛議ヲ避クル爲橋側稅關見張所ニ日本警官ヲ駐在セシメ相當ノ效果ヲ擧ケ居ルモ稅關側ニテモ日本人巡緝ヲ任用スル必要アルコト並ニ本件ニ關シテハ領事及稅關長ノ間ニ於テ絶エス密接ナル接觸ヲ保ツコト必要ナレハ双方ニ於テ其ノ趣旨ヲ常ニ領事及稅關長ニ注意スルコトトシタシト述ヘ（タル）處之ニ賛成セリ

二、尙南京發本官宛公第一七五號稅關員傷害事件ニ關スル外交部公文ニ付テハ安東發本官宛公第三三號ノ次第ヲ述ヘ本件モ領事稅關長ノ間ニ近ク圓滿解決ノ見込ナルニ付外交部ニハ其ノ趣旨ヲ回答スヘシト述ヘタルニ張ハ右ニ異存ナク本件ハ何等外交部ニ對シ知ラサリシカ外交部ハ黨ノ方

面ヨリ聞込ミ公文ヲ出シタルモノナルヘシト述ヘ堀内ヨリ本件及罷業事件等カ上海漢口等ノ新聞ニテ問題トナリ居ル次第ヲ注意シタルニ張ハ右ハ黨部等ノ遣ルコトニテ自分トシテハ此ノ種ノコトハ地方的ニ解決スル意図ナリト述ヘ居リタリ

安東へ轉電シ上海、南京へ暗送セリ

238 昭和5年12月24日 在安東米沢領事より  
幣原外務大臣宛

安東海關員所持棍棒奪取事件に関する安東海

關監督から國民政府財政部および東北政務委員会宛報告

機密第五二〇號

（昭和6年1月7日接受）  
昭和五年十二月二十四日

在安東

領事 米澤 菊二〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

安東海關外勤員罷業事件ニ關スル件

當館警察課報ニ依レハ過般安東海關外勤員罷業事件ノ際海

（別紙）

安東海關監督李友蘭ヨリ海關外勤員罷業事件ニ關シ國民政府財政部及東北政務委員會宛ノ報告文

茲ニ安東海關外勤員ハ日本鐵道附屬地内ニ於テ服務中密輸鮮人取締ニ際シ不法兇蛮ノ抵抗ヲ受ケ生命身体ト傷害ヲ蒙ルヲ以テ全体罷業シ其ノ保護方ヲ請求セシ一件ニ就テハ夫々五日、六日附ニテ電報致シ置キタル處今更ニ謹シテ財政部及東北政務委員會ニ詳報ス抑々安東ト朝鮮トハ僅ニ鴨綠江ヲ隔ツルノミニシテ開冰結冰時ヲ間ハス船筏ノ往来ハ絶へス交通至極便利ナリ而シテ海關出張所ヲ設置セル橋頭モ亦日本鐵道附屬地内ニ在リテ日鮮人ノ往来ハ日夜織<sup>織</sup>ルカ如キモ我國警察權ハ及ハサルヲ以テ不良鮮人ハ日本人資本家

## 四 日中関税協定交渉關係

240 昭和5年1月5日 在上海重光總領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

小幡公使任命問題に關し我が方希望貫徹困難  
により同公使に代る適任者を選び時局に対応  
した交渉方急務なる旨意見上申

上海 1月5日前發  
本省 1月5日後着

第一六號（極秘）

小幡公使任命問題ニ關スル我方ノ希望貫徹ハ遺憾乍ラ少ク  
トモ當分ハ困難ト認ムルノ外ナキ處駐支公使ノ手ニ依リテ  
行ハルヘキ條約改正及之ニ關スル問題ハ猶豫出來難キ狀態  
トナリ居リ若シ之等大筋ノ交渉開始ナクテハ他ノ幾多ノ交  
渉案件モ圓滿ニ動キ出サヌ有様ナリ他方各國ノ態度今日ノ  
如クナルニ於テハ支那側ノ態度ハ益々無遠慮トナルヘク法  
權撤廢ノ宣言後國定稅率ノ問題ノ如キ殘りタル日本一國ノ  
ミヲ顧慮シテ其ノ施行ヲ躊躇スルトハ考ヘラレス若シ支那

ニ代リテ貨物ヲ密輸シ一度關員ニ查出詰問セラル、時ハ現  
場ニ於テ抵抗シ又ハ關内ニ闖入シテ兇暴ヲ働キ或ハ事後群  
ヲナシテ關員ニ對シ報復的殴辱ヲ加ヘ然カモ日警ハ此レヲ  
見サルカ如ク裝ヒ關員ノ報告ヲ受クルモ亦言ヲ左右ニ托シ  
テ協助ヲ為サス故ニ鮮人ハ恃ム處アリテ悍然自由行動ヲ為  
スカ如シ如斯情況ナルヲ以テ本年六月關員撫恤章程ヲ作成  
報告シ置キタル處ナルカ其ノ後又々關員ノ生命ニ危險ヲ及  
ホス事件發生セシハ衆知ノ處ニシテ今次ノ罷業ハ公務上ヨ  
リ論スレハ之ヲ許サレサルモ情實ヲ以テミレハ寛恕スヘキ  
モノナリ然レトモ此ノ種ノ行動ハ却テ鮮人ニ密輸ノ好機ヲ  
與フルモノニシテ決シテ根本的解決ノ策ニ非ラサルヲ以テ  
友蘭ハ各關員ニ對シ無畏ノ精神ヲ持チ從前ノ如ク執務シ以  
テ國体關稅權ヲ保持スヘキ論告スルト共ニ一方日本領事  
ニ對シ積極交渉ヲ為シタルモ依然トシテ毫モ誠意ナク只管  
海關巡緝隊ノ將來棍棒ヲ携帶セス以テ日警ノ干渉ヲ誘致ス  
ルカ如キコト無キ様トノ要求ノミヲ爲シ公理蕩然トシテ憤  
慨ニ勝ヘス此ノ情形ヨリ推測スルニ現地ニ於テハ解決スル  
コト能ハサルカ如ク且新稅率實施モ間近ニ迫リ密輸ハ旧ニ  
倍シ暴行モ一層激増スヘキヲ豫想セラル、ニ付貴會（部）

239 昭和5年12月27日 币原外務大臣より  
太田関東長官宛（電報）

安東密輸取締り規則公布について

本省 12月27日後9時49分發

第四七號

貴電第七一號ニ關シ

米澤領事へ左ノ通  
拓務省ト協議ノ結果關東廳警務局長發拓務省管理局長宛二  
十日附關機高發第三一三五九号別紙廳令案ヲ公布セシムル  
コトトナリタルニ付右御含アリ度尙支那側ニテ輸出ヲ禁止  
シ居ル金塊ニ付テハ疑問アリ得ベキモ右ト雖往電第三四号  
ノ通り正規ノ手続ヲ經スシテ輸出ヲ企ツル場合ハ密輸出ト  
シテ本廳令第一条ニ包含セラル、コト勿論ナルヘシ  
安東ヘ轉電セリ

ヨリ中央政府ヲ經テ日本側ニ向テ嚴重交渉ヲ提出スルニ非ラ  
サレハ其ノ効果ハ收メ難シ右御詮議ノ上何分ノ指令相仰度  
安東海關監督代理 李友蘭

十二月六日

又黨部及政府ニ於ケル決定ハ徹底的ノモノアリ且飽ク迄一  
方的若ハ自主的ニ斷行スル國民黨ノ立前ヲ取り事實外國關  
係ノ如キ餘リ顧慮セス外交部ノ如キハ單ニ中央ノ決定ヲ如